

令和8年度

庁舎管理事務

福富支所外部等改修工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市福富町久芳

特 約 事 項

受注者は、工事施工業者の社会的責任において信義、誠実に施工するとともに次の事項について十分遵守すること。

1. 本工事の施工にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し、工事の円滑な進行を図ること。また、関係法令等に基づく関係官公署等への必要な届出手続きを遅滞なく行うこと。
2. 現場作業時間は、原則月曜日から金曜日の8時から17時までとし、土曜日・日曜日は休工とすること。ただし、現場条件及び工程の進捗状況等により、あらかじめ監督職員の下承が得られた場合はこの限りではない。また、作業時間や工事内容、工程等について施設管理者に通知し、施設運営・選挙やイベント等の行事に支障のないよう工程の調整に努めること。
3. 仮囲い等仮設物の設置に関しては、図面（A-11）を参考として、施設管理者、監督職員と十分協議の上、安全対策に万全を期して行うこと。
なお、図面（A-11）に記載の工事ヤード以外に、市から土地の提供は行わない。
4. 工事期間中は適宜交通誘導警備員を配置し、通行人等に対する安全対策に万全を期すること。資材等を頻繁に搬出入するなどの交通に支障を来たすおそれがある場合は、必要に応じて交通誘導警備員を増員すること。
交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から合計24人を見込んである。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行ったうえで変更対象とする。
5. 現場着手に先立ち、施工計画（工程計画・仮設計画・安全管理計画等）作成のための現地調査等を十分に行うこと。なお、調査に際しては、施設管理者と協議し、施設使用者に支障のないように行うこと。また、本工事に支障ある埋設物及び障害物などの処理は、監督職員の指示に従い施工すること。
6. 現場作業に当ってはゴミ収集、ガスタンクへの補給、電気・水道の検針、施設・設備の各種保守点検、郵便等の配達、施設使用者の車両の駐車などに支障のないよう配慮すること。
7. 近隣から苦情等が発生した場合は、誠実に対応すると共に、監督職員と十分協議のうえ、受注者の責任において処理すること。
8. 万一、工事が原因で、近隣及び公共施設等に損害を与えた場合は、受注者の責任において補償すること。

9. 工事が原因で関係者及び近隣住民等への日常生活に影響を及ぼす恐れのある次の事項などに十分留意し、看板の設置等による工事内容の事前周知、関係者に説明、協議を行い、工事の進捗を図ること。
 - ・騒音、振動、防塵、電波障害等
 - ・工事関係車両の進入路及びやむを得ない通行止め
 - ・工事関係車両の駐車禁止及び待機場所の確保
 - ・公共施設などに影響を及ぼした場合の復旧

10. 屋根工事については、施工に先立ち設計図書との相違の有無について調査が必要である。調査に入る前に調査計画書を提出すること。調査は屋根の一部解体し、設計図面と相違がないか調査を行うこと。調査の結果、設計図書と相違がみられた場合は、雨に対する養生（合板及びブルーシート）を行ったうえで、調査内容を監督職員に報告すること。（調査箇所 4 箇所見込み）改修内容の変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行ったうえで変更対象とし、監督職員から指示を受けた後に施工を行うこと。

11. 外壁改修工事について、施工に先立ち外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通しているひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行うこと。また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し、ひび割れ等の集計表を添えて監督職員に提出すること。改修内容の変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行ったうえで変更対象とし、監督職員から指示を受けた後に施工を行うこと。

12. 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。

13. 工事目的物及び工事材料を建設工事保険等に附すること。保険契約締結後は、速やかに証券等の写しを提出すること。
 - ①期間は、現場作業着手日から工期末日までとする。

ただし、受注工事毎に附する保険の場合ではなく、受注者が一定の期間内に受注する工事全体に対する保険の場合で、工期途中で保険契約満了日を迎える場合は、新契約の証券等の写しを提出すること。
 - ②保険は、請負額相当額に対し附すること。

14. 本工事は、東広島市建設工事執行規則（平成10年東広島市規則第4号）第41条第7項の規定により中間検査を行う。中間検査の時期は、出来高60%程度でかつ、外壁下地補修工事中又は完了時とし、予定時期を施工計画書に明示し、実施日時については監督職員と協議して決定する。

15. 本工事において、受注者は法定外の労災保険に附さなければならない。
①受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
②法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。
16. 本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(営繕工事)(最新版(R7年12月1日改定))」に従うこと。
17. 工事着工に先立ち、資材調達見込みについて発注者へ報告し、発注者と協議のうえ、全体あるいは関連する一団の工事について工事継続が可能であると判断されたのちに工事着工すること。
18. 17の協議により工事継続が不可能と判断された場合において、工事着手前に工事を一時中止する場合がある(後日、一時中止に伴い工期延期する場合もある)。この場合、工事の一時中止(及び工期延期)に伴う請負代金額の変更等を行わない。(工事着手後の一時中止(及び工期延期)についてはこの限りではない。)
19. 建設発生土(搬出)(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地または建設発生土受入地(一時たい積))
当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地または建設発生土受入地(一時たい積)の最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地または建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。
当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
(名称) 有限会社 トラスト
(所在地) 〒739-0022
東広島市西条町上三永字片良 3427-1
(運搬距離) 23.8 km

以上

特記仕様書

主任技術者又は監理技術者の配置等

1 主任技術者又は監理技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される主任技術者又は監理技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

- (1) 工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
- (2) 工事用地等の確保が未完了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベータ等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任技術者又は監理技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任技術者又は監理技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

- (4) 工事完成後、検査が終了し、引渡しを受けるまでの期間

2 主任技術者又は監理技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任技術者又は監理技術者の変更ができるものとする。

- (1) 受注者の責によらない理由により工期が延長された場合であって、延長前の工期を経過したとき。
- (2) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター、発電機・配電盤等の電機品等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

特記仕様書

<現場代理人の常駐義務の緩和>

監督職員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認められた場合」として取扱う。

- (1) 請負金額が4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満
- (2) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間
- (5) 上記(2)、(3)、(4)に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他、特に発注者が認めた期間

<現場代理人の兼務>

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日以前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日以前の町の区域とする。

アスベスト成形板処理作業仕様書

1. この工事については石綿等(アスベスト成形板)が使用されている建築物の解体工事であり、以下の法律を遵守し労働者の健康保護及び一般環境への汚染防止に努めること

- ① 労働安全衛生法・石綿障害予防規則
- ② 大気汚染防止法
- ③ 建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律(リサイクル法)
- ④ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)

2. アスベスト成形板の撤去方法

- (1)アスベスト成形板の撤去は、内装及び外部建具等の撤去にさきがけて行う。
- (2)建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉塵が外部に飛散するおそれがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。
- (3)アスベスト成形板の撤去は、可能な限り撤去又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とする。なお、建物外部のアスベスト成形板を撤去する場合は、できる限り、原型のまま撤去する。
- (4)撤去作業中は、散水その他の方法により、アスベスト成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。
- (5)撤去作業には、防塵マスク、防護メガネ及び作業衣を着用させる。
- (6)撤去作業後、アスベスト成形板の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉塵が残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。
- (7)解体現場周辺に粉塵等の飛散を防止するために解体する建物の高さ以上に飛散防止幕を設置し撤去物を十分湿潤化できる散水装置を設置する。

3. アスベスト成形板の集積、運搬等

- (1)撤去したアスベスト成形板の集積及び積み込みに当たっては、高所より投下しないことその他、粉塵の飛散防止に努める。
- (2)細かく破碎されたアスベスト成形板は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等、飛散防止の措置を講じる。
- (3)撤去したアスベスト成形板を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じる。また、保管場所には、アスベスト成形板の保管場所であることの表示を行う。
- (4)アスベスト成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
- (5)アスベスト成形板の撤去、集積、積み込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。

4. アスベスト成形板の処分等

- (1)アスベスト成形板は、一般産業廃棄物として安定型処分場で処分する。なお、マニフェストには、アスベスト成形板であることを明示する。
- (2)撤去されたアスベスト成形板の処分が完了した場合には、マニフェストを監督職員に提出し、処分が確実に行われたかの確認を受ける。

5. 必要な作業主任者

石綿作業主任者もしくは、特定化学物質等作業主任者の資格を取得したものを選任すること。

建設副産物の取り扱いに関する特記仕様書

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次の URL を参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³

以上の工事を対象とする。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ①当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - ②当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記①、②に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出し
ないもの）

工事中情報共有システムに関する特記仕様書

1 工事中情報共有システム（発注者指定型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領（建築工事）」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD 製図基準（国土交通省）」および「CAD 製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。
- 6) 書類提出をシステム登録とするものについても、以下の場合には紙媒体での提出を一部ずつ求めるものとする。
 - ①施工体制台帳及び施工計画書。
 - ②図面等が A3 サイズで視認困難なもの。（目視により確認できるサイズにより、紙媒体での提出を求める。）

令和8年度 庁舎管理事務

福富支所外部等改修工事

建築図

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	-	A-23	改修前屋根伏図	1/200	A-45	照明器具姿図	1/100
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	-	A-24	改修後屋根伏図	1/200	A-46	地階照明設備図(参考図)	1/100
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)	-	A-25	改修前鉄骨伏図	1/200	A-47	1階電灯設備図	1/100
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)	-	A-26	改修前小屋部鉄骨詳細図	1/40	A-48	2階電灯設備図	1/100
A-05	建築改修工事特記仕様書(5)	-	A-27	改修後鉄骨伏図	1/100	A-49	1階建具表キープラン	1/200
A-06	建築改修工事特記仕様書(6)	-	A-28	改修後小屋部鉄骨詳細図(1) 兼鉄骨部材リスト	1/40	A-50	2階建具表キープラン・地階建具キープラン	1/200
A-07	建築改修工事特記仕様書(7)	-	A-29	改修後小屋部鉄骨詳細図(2)	1/20	A-51	建具表・1	1/100
A-08	外壁改修工事特記仕様書(1)	-	A-30	改修前東側立面図・北側立面図	1/200	A-52	建具表・2	1/100
A-09	外壁改修工事特記仕様書(2)	-	A-31	改修後東側立面図・北側立面図	1/200	A-53	建具表・3	1/100
A-10	配置図	1/500	A-32	改修前西側立面図・南側立面図	1/200	A-54	建具表・4	1/100
A-11	仮設計画図(参考図)	1/500	A-33	改修後西側立面図・南側立面図	1/200	A-55	建具表・5	1/100
A-12	仕上表・1	-	A-34	改修前矩計図(1)	1/50	A-56	建具表・6	1/100
A-13	仕上表・2	-	A-35	改修後矩計図(1)	1/50	A-57	劣化図・1	1/100
A-14	仕上表・3	-	A-36	改修前後矩計図(2)	1/60	A-58	劣化図・2	1/100
A-15	仕上表・4	-	A-37	改修前後矩計図(3)	1/60	A-59	劣化図・3	1/100
A-16	仕上表・5	-	A-38	2階屋根部分改修詳細図・軒先、水切部分詳細図	1/20 1/5	A-60	改修前雨水排水図	1/200
A-17	改修前ビット・地階平面図	1/200	A-39	1階緑化撤去及びひアルミ小庇取付詳細図	1/20 1/10	A-61	改修後雨水排水図	1/200
A-18	改修後ビット・地階平面図	1/200	A-40	改修前後エントランス詳細図(1)	1/6 1/20 1/100	A-62	改修前後給排水衛生設備 1階平面図	1/200
A-19	改修前1階平面図	1/200	A-41	改修前後エントランス詳細図(2)	1/6 1/20 1/100			
A-20	改修後1階平面図	1/200	A-42	地階天井伏図(張り替え範囲記入)	1/200			
A-21	改修前2階平面図	1/200	A-43	1階天井伏図(張り替え範囲記入)	1/200			
A-22	改修後2階平面図	1/200	A-44	2階天井伏図(張り替え範囲記入)	1/200			

3 防水改修工事	1	降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)~(9)による。 ○ 全面ブルーシート養生、屋根撤去部分は合板下地を含む	[3.1.3]
	2	既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) [3.1.4] [3.2.3, 4, 6] ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) [3.1.4] [3.2.3, 4, 6] ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (・ M4S ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X)	
	3	既存下地の処置	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6] POS工法及びPOSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (7) (g) ①~③による 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸縁の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層未端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する	
	4	アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種類 [3.3.2~5]	

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/m2程度	乾式保護材・コンクリート押え ・ れんが押え ※ JIS R 1250
	・ A-2				
・ P1B	・ B-1			※フラットヤーンクロス70g/m2程度	乾式保護材・コンクリート押え ・ れんが押え ※ JIS R 1250
	・ B-2				
・ P2A1	・ A1-1	(材質) JISA9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキ層付き) (厚さ) (mm) ※25・50		※フラットヤーンクロス70g/m2程度	乾式保護材・コンクリート押え ・ れんが押え ※ JIS R 1250
	・ A1-2				
・ P1B1	・ B1-1			※フラットヤーンクロス70g/m2程度	乾式保護材・コンクリート押え ・ れんが押え ※ JIS R 1250
	・ B1-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
防水タイル張り ※ 水下 60mm以上

乾式保護材
商業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したものの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの。

(品質・性能)

分類・規格	・ 商業系パネル I類	・ 金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm)	幅 (mm)
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時	300以上
凍結融解完了 (スパン40cm)における単位幅1cmあたりの曲げモーメント) (試験サイクル数)	400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍融融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないと思われるものは耐凍融融解試験を省略できる。)	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないと思われるものは耐凍融融解試験を省略できる。)
耐衝撃性能	質量500g (商業系パネル I類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。積層変形量1/100以下。	質量500g (商業系パネル I類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。積層変形量1/100以下。
剛性 (E×I) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)	-	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな面に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルーラー又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボート類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全面に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(商業系パネル II類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1~3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体 (幅40mm×長さ160mm×素材厚さ) を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム (試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥機」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験体の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準 (L1) とする。次に試験体の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験体を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ (L2) を測る。
吸水による長さ変化率 (ΔL) は、次式によって求める。
(ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL: 吸水による長さ変化率 (%)
L1: 乾燥時の標線間の長さ (mm) L2: 吸水時の標線間の長さ (mm)

(6) 耐凍融融解性能試験は、JIS A 5422「商業系サイディング」の凍結融解水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(商業系パネル II類は200サイクルまでとする。)
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5~35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の空气中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。

(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボート類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。
試験体の大きさは、4号 (長さ400mm、幅300mm) とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号 (W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、表面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の積層変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ M4C	・ C-1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
	・ C-2					
・ M3D	・ D-1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
	・ D-2					
・ M4D1	・ D1-1	JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50		※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
	・ D1-2					

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個)

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフレッドン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示

屋内防水

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ P1E	・ E-1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
	・ E-2					

E-1の場合で工程3を行う部位 (※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)
保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 ※ 図示

屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ M4S	・ AS-T1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
	・ AS-T2					
・ M3AS	・ AS-T3			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
	・ AS-T4					
・ M4AS1	・ AS-J1	JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25mm・50mm		※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
	・ AS-J2					

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁断熱工法の防水層シート
・ 設置する
・ 設置しない

5 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率の防水	備考
				種類	使用量		
・ POS	・ S-F1	・ S4S		※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	
							・ S-F2
・ SSS	・ S-F1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	
							・ S-F2
・ M4S	・ S-M1			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	
							・ S-M2
・ POS1	・ SI-F1	改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50		※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	
							・ SSI1
・ S4S1	・ SI-F2	改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50		※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	
							・ M4S1
・ SI-M1	改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) (mm) ※25・50			※製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	
							・ SI-M2

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※ 非歩行用 ・ 軽歩行用
S I-M1及びS I-M2における防湿用フィルムの設置
※ 設置しない ・ 設置する
S I-M2の絶縁用シートの材質
※ 発泡ポリエチレンシート
S-M2及びS I-M2の立上り部の工法
※ 接着工法 (立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm) ・ 機械的固定工法

屋内防水 防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタルの塗布
		塗布	工法	
・ S-C1		・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り	・ 適用する	※ 7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm)以上

固定金具の材質及び寸法形状
※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

脱気装置の種類及び設置数量
接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 (接着工法の場合)
・ 行う (※ 図示) ・ 行わない

7 差膜防水

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率の防水	備考
			種類	使用量		
・ P O X	・ X-1	屋上緑地	※2成分アクリル樹脂系 ・ フッ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
・ L4X	・ X-1		※2成分アクリル樹脂系	※主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない
・ P1Y	※Y-2				・ 適用する	保護層 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない

X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様
X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)
※ 立上り部の保護コンクリートは撤去せずにX-2を施工すること

8 シーリング [3.7.2、3、3.7.7]

シーリング改修工法の種類
・ シーリング充填工法
○ シーリング再充填工法
・ 拡張シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
ポンドブレーカー張り ・ 適用する
エッジング材張り ・ 適用する
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書3.7.11による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
金属製壁とコンクリート	MS-2変性シリコーン 15

仕上げを行わない施工箇所
・ 図示による ・ 打継目地
シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

9 とい [3.8.2、3]

といの材質 ・ 配管用鋼管
○ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ ルーフドレン
・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)

種別	呼び
・ ろく屋根用たて形 I型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ ろく屋根用埋形 I型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ パルコニー中継用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100
・ パルコニー用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100

とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔
※ 改修標準仕様書3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの
多雪地域 ・ 適用する
防露材のホルムアルデヒド放数量
※ F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示
鋼管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書3.8.4による
たてとい受金物の取付け ※ 図示

10 アルミニウム製窓木 [3.9.2、3]

種類 ・ オープン形式 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形)
・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式)
本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm) mm

表面処理 種別 () 種
色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
既存窓木の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない

下地補修の工法 ※ 図示
板材折曲げ形の窓木の取付け方法 ※ 図示
窓木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

防水改修フロー及び数量
・ 既存保護層の補修及び処置

防水面調査 (施工数量調査)				
ひび割れ部補修	欠損部改修	浮き部補修	ぜい弱部補修	既存目地欠損部補修 (脱気に利用する場合)
0m	0m	0m	0m2	0m

シーリング改修
シーリング再充填工法

mm × mm	mm	mm × mm	mm
0	0	0	0

4-1 外壁改修工事(共通事項)	1	ポリマーセメントモルタル	<p>(品質・性能) [4.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th colspan="2">品質・性能</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">だれ</td> <td>下がり量 (mm)</td> <td colspan="2">5以内</td> </tr> <tr> <td>表面の状態</td> <td colspan="2">ひび割れの発生が無いこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">曲げ強さ (N/mm²)</td> <td>標準条件</td> <td colspan="2">6.0以上</td> </tr> <tr> <td>特殊条件</td> <td colspan="2">20.0以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">圧縮強さ (N/mm²)</td> <td>標準条件</td> <td colspan="2">1.0以上</td> </tr> <tr> <td>特殊条件</td> <td colspan="2">0.8以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着強さ (N/mm²)</td> <td>標準条件</td> <td colspan="2">0.8以上</td> </tr> <tr> <td>低温時</td> <td colspan="2">0.5以上</td> </tr> </table> <p>透水性 表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。</p>	項目		品質・性能		だれ	下がり量 (mm)	5以内		表面の状態	ひび割れの発生が無いこと。		曲げ強さ (N/mm ²)	標準条件	6.0以上		特殊条件	20.0以上		圧縮強さ (N/mm ²)	標準条件	1.0以上		特殊条件	0.8以上		接着強さ (N/mm ²)	標準条件	0.8以上		低温時	0.5以上		<p>4-1-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p>	<p>[4.1.4] [4.2.4、5、6、7]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/cm)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td rowspan="2">200~300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td rowspan="2">50~100</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>※ 上表の注入量については、あくまでも参考数量である。上記注入量に関わらず、適切な注入工法により、それ以上注入が出来るまで注入を行うこと。</p> <p>注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示</p> <p>・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂 [4.2.7]</p> <p>○ シール工法 [4.2.7]</p> <p>※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※ 充填工法 [4.1.4] [4.2.4、8]</p> <p>・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40	※ 注入工法	0.3以上0.5未満	※40	・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※40		0.3以上0.5未満	100~200	※70		0.5以上1.0未満	150~250	※130				
	項目		品質・性能																																																																
	だれ	下がり量 (mm)	5以内																																																																
		表面の状態	ひび割れの発生が無いこと。																																																																
曲げ強さ (N/mm ²)	標準条件	6.0以上																																																																	
	特殊条件	20.0以上																																																																	
圧縮強さ (N/mm ²)	標準条件	1.0以上																																																																	
	特殊条件	0.8以上																																																																	
接着強さ (N/mm ²)	標準条件	0.8以上																																																																	
	低温時	0.5以上																																																																	
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)																																																																
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40																																																																
※ 注入工法	0.3以上0.5未満		※40																																																																
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※70																																																																
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満		※40																																																																
	0.3以上0.5未満	100~200	※70																																																																
	0.5以上1.0未満	150~250	※130																																																																
2	ポリマーセメントスラリー	<p>(品質・性能) [4.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>広がり速度 (cm/s)</td> <td>長さ変化率 (収縮) (N/mm²)</td> <td>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</td> <td>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> <tr> <td>保水係数 0.35~0.55</td> <td>粘弾係数 0.50~1.00</td> <td>吸水率 (72時間) (%)</td> <td>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>70.0%以上</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量 1.80 kg/L以上</td> <td>標準時 0.60 N/mm²以上</td> <td>温冷繰り返し後 0.40 N/mm²以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.5]</p> <p>既調合モルタル [4.3.5]</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> <td>長さ変化率</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80 kg/L以上</td> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0 N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ</td> <td>標準時 0.60 N/mm²以上</td> <td>温冷繰り返し後</td> <td>0.40 N/mm²以上</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 試験の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちにて用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。</p> <p>(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求め、 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの直径 mm</p> <p>(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。</p> <p>(4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付けする。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「50角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シーリング接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm²以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付けする。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「小口タイル 108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>エ) 適用タイルが「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温槽中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温槽中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びぬれの有無を目視によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上を確保していること)</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p>	項目	品質・性能	項目	品質・性能	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (N/mm ²)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	保水係数 0.35~0.55	粘弾係数 0.50~1.00	吸水率 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)			70.0%以上	0.20%以下	単位容積質量 1.80 kg/L以上	標準時 0.60 N/mm ² 以上	温冷繰り返し後 0.40 N/mm ² 以上		項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0 N/mm ² 以上	接着強さ	標準時 0.60 N/mm ² 以上	温冷繰り返し後	0.40 N/mm ² 以上	<p>4-1-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 浮き部改修工法</p> <p>4 外壁複合改修工法</p>	<p>[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/cm)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td rowspan="2">200~300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td rowspan="2">50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示</p> <p>・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ シール工法 [4.2.7]</p> <p>※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による</p> <p>モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による</p> <p>※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25m²/箇所程度以下の場合) [4.1.4] [4.3.9、10]</p> <p>充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料 既設目地材 ・ 使用する (形状) ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11~16]</p> <p>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既設目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40	※ 注入工法	0.3以上0.5未満	※40	・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	100~200	※70		0.3以上0.5未満	150~250	※130
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (N/mm ²)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)																																																																
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上																																																																
保水係数 0.35~0.55	粘弾係数 0.50~1.00	吸水率 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																
		70.0%以上	0.20%以下																																																																
単位容積質量 1.80 kg/L以上	標準時 0.60 N/mm ² 以上	温冷繰り返し後 0.40 N/mm ² 以上																																																																	
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下																																																																
単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0 N/mm ² 以上																																																																
接着強さ	標準時 0.60 N/mm ² 以上	温冷繰り返し後	0.40 N/mm ² 以上																																																																
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)																																																																
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40																																																																
※ 注入工法	0.3以上0.5未満		※40																																																																
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※40																																																																
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満		100~200	※70																																																															
	0.3以上0.5未満	150~250	※130																																																																
3	吸水調整材	改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.5]	<p>4-1-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 浮き部改修工法</p> <p>4 外壁複合改修工法</p>	<p>[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/cm)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td rowspan="2">200~300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td rowspan="2">50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示</p> <p>・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ シール工法 [4.2.7]</p> <p>※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による</p> <p>モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による</p> <p>※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25m²/箇所程度以下の場合) [4.1.4] [4.3.9、10]</p> <p>充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料 既設目地材 ・ 使用する (形状) ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11~16]</p> <p>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既設目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40	※ 注入工法	0.3以上0.5未満	※40	・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	100~200	※70		0.3以上0.5未満	150~250	※130																																								
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)																																																																
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40																																																																
※ 注入工法	0.3以上0.5未満		※40																																																																
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※40																																																																
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満		100~200	※70																																																															
	0.3以上0.5未満	150~250	※130																																																																
4	既調合モルタル	<p>[4.3.5]</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> <td>長さ変化率</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量 1.80 kg/L以上</td> <td>標準時 0.60 N/mm²以上</td> <td>温冷繰り返し後 0.40 N/mm²以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 試験の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちにて用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。</p> <p>(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求め、 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの直径 mm</p> <p>(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。</p> <p>(4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付けする。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「50角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シーリング接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm²以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付けする。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「小口タイル 108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>エ) 適用タイルが「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温槽中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温槽中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びぬれの有無を目視によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上を確保していること)</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p>	項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量 1.80 kg/L以上	標準時 0.60 N/mm ² 以上	温冷繰り返し後 0.40 N/mm ² 以上		<p>4-1-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>3 浮き部改修工法</p> <p>4 外壁複合改修工法</p>	<p>[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/cm)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td rowspan="2">200~300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>※ 注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td rowspan="2">50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示</p> <p>・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ シール工法 [4.2.7]</p> <p>※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による</p> <p>モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による</p> <p>※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25m²/箇所程度以下の場合) [4.1.4] [4.3.9、10]</p> <p>充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料 既設目地材 ・ 使用する (形状) ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11~16]</p> <p>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既設目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40	※ 注入工法	0.3以上0.5未満	※40	・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	100~200	※70		0.3以上0.5未満	150~250	※130																												
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下																																																																
単位容積質量 1.80 kg/L以上	標準時 0.60 N/mm ² 以上	温冷繰り返し後 0.40 N/mm ² 以上																																																																	
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/cm)																																																																
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40																																																																
※ 注入工法	0.3以上0.5未満		※40																																																																
・ 自動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上1.0未満	50~100	※40																																																																
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満		100~200	※70																																																															
	0.3以上0.5未満	150~250	※130																																																																
4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)	1	ひび割れ部改修工法	<p>[4.4.5、8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上</td> <td></td> <td>4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>石含有仕上げ塗材の除去は、9 章環境配慮改修工事による</p>	工法	処理範囲	下地面の補修	・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による	・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示		・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示		<p>4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>2 下地調整材</p>	<p>[4.4.5、8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上</td> <td></td> <td>4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>石含有仕上げ塗材の除去は、9 章環境配慮改修工事による</p>	工法	処理範囲	下地面の補修	・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による	・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示		・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示																											
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																	
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)																																																																	
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)																																																																	
・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による																																																																	
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																	
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)																																																																	
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)																																																																	
・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による																																																																	
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
2	欠損部改修工法	<p>[4.4.5、6]</p> <p>※ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修</p>	<p>4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>2 下地調整材</p>	<p>[4.4.5、6]</p> <p>※ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修</p>																																																															
3	浮き部改修工法	<p>[4.4.5、7]</p> <p>※ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p>	<p>4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>3 浮き部改修工法</p>	<p>[4.4.5、7]</p> <p>※ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p>																																																															
4	外壁複合改修工法	<p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>	<p>4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>4 外壁複合改修工法</p>	<p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>																																																															
4-2 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)	1	ひび割れ部改修工法	<p>[4.4.5、8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上</td> <td></td> <td>4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>石含有仕上げ塗材の除去は、9 章環境配慮改修工事による</p>	工法	処理範囲	下地面の補修	・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による	・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示		・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示		<p>4-2 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>2 下地調整材</p>	<p>[4.4.5、8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td>4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)</td> </tr> <tr> <td>・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上</td> <td></td> <td>4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td>※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>石含有仕上げ塗材の除去は、9 章環境配慮改修工事による</p>	工法	処理範囲	下地面の補修	・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による	・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示		・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示																											
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																	
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)																																																																	
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)																																																																	
・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による																																																																	
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																	
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)																																																																	
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)																																																																	
・ 吐出圧力 ・ 30MPa ~ 50MPa ・ 50MPa ~ 100MPa ・ 100MPa 以上		4-4 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による																																																																	
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示																																																																		
2	欠損部改修工法	<p>[4.4.5、6]</p> <p>※ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修</p>	<p>4-2 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>2 下地調整材</p>	<p>[4.4.5、6]</p> <p>※ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修</p>																																																															
3	浮き部改修工法	<p>[4.4.5、7]</p> <p>※ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</p>																																																																	

6 内装改修工事	22	合成樹脂塗床	[6. 1. 0. 2. 3]	27	壁紙張り	[6. 1. 4. 2. 3]	28	モルタル塗り	[6. 1. 5. 3. 5. 6]	29	タイル張り	[6. 1. 6. 2 ~ 4]	30	セルフレベリング材塗り	[6. 1. 7. 2. 3]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法</td> <td>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※ 平滑仕上げ</td> </tr> </table> <p>塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	種別		施工箇所	工法		仕上げの種類	・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床					※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・ フローリング ボード1等</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ 15 ・ 12</td> <td>・ ・</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング ブロック1等</td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・ 8 ・ 15</td> <td>・ ・</td> </tr> </table>	種別	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用	・ フローリング ボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 15 ・ 12	・ ・	・ フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら	・ 8 ・ 15	・ ・	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板 フローリング</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ A種 ・ 15 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12</td> <td>・ ・</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング ブロック1等</td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12</td> <td>・ ・</td> </tr> </table>	種別	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用	・ 天然木化粧合板 フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ A種 ・ 15 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・	・ フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら	・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板 フローリング</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ A種 ・ 15 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12</td> <td>・ ・</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング ブロック1等</td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12</td> <td>・ ・</td> </tr> </table>	種別	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用	・ 天然木化粧合板 フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ A種 ・ 15 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・	・ フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら	・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・	<p>壁紙の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>紙 織物 塩化ビニル チック</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考		紙 織物 塩化ビニル チック				・ ・ ・ ・ ・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃			・ ・ ・ ・ ・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃		<p>モルタル・せつこうプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 せつこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種類 ※B種</p>	<p>モルタル ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 (材料) 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※ 図示) ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける (目地割り ※ 2mm程度 (最大目地間隔3mm程度 (種類 ※ 押し目地)) ・ 設けない</p>	<p>タイル張り</p> <p>伸縮調整目地の位置 床タイル (※ 縦、横とも4mm以内と) ・ 図示 () 床タイル以外 (※ 図示) ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状・寸法</th> <th>再生材料の適用</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(mm)</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状・寸法	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	吸物	色	耐凍害性	耐滑	備考		(mm)	I類 II類 III類	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	有 無	有 無	標準 特注	有 無	有 無			・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・		<p>タイル張り</p> <p>耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.値は0.4~1.0とする。</p> <p>標準的な曲がりの吸物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ※ 行わない</p> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> <td>長さ変化率</td> <td>0.20%以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80 kg/L以上</td> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0N/mm2以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ</td> <td>標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) 試料の調整 製造業者の定める、正味質量と標準練り量がより換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。</p> <p>(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径18.5cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調整した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの径 mm</p> <p>(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。</p>	項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上	接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上			<p>(4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N=300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調整した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による飾り用の「50角ユニットタイル (外寸約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シロメ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び取り換える。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の材料切断位置を表を下記の中から選び明記する。 T: タイルの母材切断 M: 既調合モルタルと下地板の界面切断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面切断 G: 下地板の母材切断</p> <p>ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N=300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調整した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による飾り用の「小口タイル 108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ (温冷繰返し) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥離の有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和ポリマーディスページョン及び再乳化粉体樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>30.0%以上</td> <td>吸水率</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下 (収縮)</td> <td>単位容積質量</td> <td>1.80 kg/L以上</td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) 試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5%の標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などは、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。</p> <p>(2) 試料の調整 正味質量と標準練り量がより、1.0~1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。</p> <p>(3) 保水性 (ろ紙法) JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦200mm、横200mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径18.5cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(2) で練り混ぜた試料をすべて平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 (%) = 50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの径 (mm)</p> <p>(4) 単位容積質量 (2) で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。</p> <p>(5) 長さ変化率 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。</p> <p>(6) 吸水率 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水率を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状・寸法</th> <th>再生材料の適用</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(mm)</td> <td>の適用</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>有 無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・ ・ ・</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの吸物は一体成形とする 有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	30.0%以上	吸水率	50以下	長さ変化率	0.2%以下 (収縮)	単位容積質量	1.80 kg/L以上	施工箇所	形状・寸法	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	吸物	色	耐凍害性	備考		(mm)	の適用	I類 II類 III類	有 無	有 無	標準 特注	有 無			・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・		<p>7 塗装改修工事</p> <p>1 材料</p> <p>2 下地調整、素地ごしらえ</p> <p>3 錆止め塗料塗り</p> <p>4 仕上げ塗料塗り</p> <p>8 耐震改修工事</p>	<p>屋内に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7. 1. 3] ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 図面の、天井仕上げは防火材料とする () ※ 次の箇所を除き防火材料とする ()</p> <p>塗替え種別がB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7. 2. 1 ~ 7] ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す</p> <p>下地調整、素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>○木部</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※R種</td> <td>・ C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面 (DP)</td> <td>※R種</td> <td>・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 垂れめつき面</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル面、せつこうプラスター面</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート面 (DP以外)</td> <td>※R種</td> <td>・ B種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ ALCパネル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出成形セメント板面 (DP)</td> <td>・ R種</td> <td>・ RC種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート面</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ せつこうボード面、その他ボード面</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>錆止め塗料塗りの種別 [7. 4. 2. 3]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th rowspan="2">SOP</th> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> <tr> <th>新規見え隠れ</th> <th>塗替え</th> <th>・ A種</th> <th>・ B種</th> <th>・ A種</th> <th>・ B種</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td rowspan="2">新規見え隠れ</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td rowspan="2">新規</td> <td>新規</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ)による</td> <td>7.4.2(1)(イ)(b)による</td> <td>・ A種 (下地調整RA種)</td> <td>・ B種 (下地調整RB種)</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種 (下地調整RC種)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂れめつき鋼面</td> <td rowspan="2">SOP</td> <td>新規鋼製建具等</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>新規その他</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td rowspan="2">新規鋼製建具等</td> <td>新規その他</td> <td>塗替え</td> <td>・ C種</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>塗替え</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td rowspan="2">新規</td> <td>新規</td> <td>塗替え</td> <td>・ B種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>塗替え</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>[7. 5. 2 ~ 7. 12. 2]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂塗合ベント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種 ・ 2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂れめつき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・ クリアラッカー塗り (CL)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛メッキ鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種</td> <td>・ A-1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ B-1種 ・ B-2種</td> <td>・ B-1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ C-1種 ・ C-2種</td> <td>・ C-1種</td> </tr> <tr> <td>・ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつこうプラスター面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内木部</td> <td>※A種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内垂れめつき面</td> <td>※A種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ スティン塗り ・ オイルスティン塗り (OS)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○木材保護塗料塗り (W.P)</td> <td></td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せつこうプラスター面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしきり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ B種又はC種の場合は改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りしを止めシーラーとする</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ B種又はC種の場合は改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りしを止めシーラーとする</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高反射反射率塗料塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下地調整 (改修標準仕様書7.2.2)</td> <td></td> <td>・ A種 ※B種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工程</td> <td>塗料の種類</td> <td>塗料の他</td> <td>塗付量 (kg/m2)</td> </tr> <tr> <td>規格番号</td> <td>規格名称</td> <td>種類</td> <td>等級</td> </tr> <tr> <td>塗料塗り JIS K 5675</td> <td>屋根用高白剤</td> <td>2種</td> <td>1級 ・ 2級 ・ 3級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>反射率塗料</td> <td></td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>クリアラッカー塗りA種の工程2の着色</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 適用しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 適用しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 適用する (着色剤: ・ 油性顔料着色剤 ・ 溶剤顔料着色剤)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オイルスティン塗りの工程等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特記仕様書 (構造関係) による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	下地調整の種類	塗替え	新規	ひび割れ部の補修	○木部	※R種	・ A種 ・ B種	—	・ 鉄鋼面 (DP以外)	※R種	・ C種	—	・ 鉄鋼面 (DP)	※R種	・ B種	—	・ 垂れめつき面	※R種	・ A種 ・ B種	—	・ モルタル面、せつこうプラスター面	※R種	・ A種 ・ B種	・ 行う	・ コンクリート面 (DP以外)	※R種	・ B種	・ 行う	・ ALCパネル				・ 押出成形セメント板面 (DP)	・ R種	・ RC種	・ A種 ・ B種	・ コンクリート面	※R種	・ A種 ・ B種	—	・ せつこうボード面、その他ボード面	※R種	・ A種 ・ B種	—	鉄鋼面	SOP	塗装面		塗料の種類		工程の種類		新規見え隠れ	塗替え	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種	EP-G	新規見え隠れ	新規見え隠れ	塗替え	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種	塗替え	塗替え	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種	DP	新規	新規	塗替え	7.4.2(1)(イ)による	7.4.2(1)(イ)(b)による	・ A種 (下地調整RA種)	・ B種 (下地調整RB種)	塗替え	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種 (下地調整RC種)	—	垂れめつき鋼面	SOP	新規鋼製建具等	塗替え	・ A種 ・ B種	・ A種	・ B種	—	新規その他	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種	—	EP-G	新規鋼製建具等	新規その他	塗替え	・ C種	・ A種	・ B種	—	塗替え	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種	—	DP	新規	新規	塗替え	・ B種	—	—	—	塗替え	塗替え	—	—	—	—	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・ 合成樹脂塗合ベント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	塗料の種類 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種	・ A種 ※B種	垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種		垂れめつき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種	・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	—		上塗り等級 () 級	—	—		亜鉛メッキ鋼面	—	—		上塗り等級 () 級	—	—		コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種	・ A-1種			・ B-1種 ・ B-2種	・ B-1種			・ C-1種 ・ C-2種	・ C-1種	・ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面	※B種	・ A種 ・ B種		モルタル面	※B種	・ A種 ・ B種		せつこうプラスター面	※B種	・ A種 ・ B種		せつこうボード面	※B種	・ A種 ・ B種		屋内木部	※A種	・ A種		屋内鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種		屋内垂れめつき面	※A種	・ A種 ・ B種	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・ A種 ・ B種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	・ スティン塗り ・ オイルスティン塗り (OS)				○木材保護塗料塗り (W.P)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せつこうプラスター面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしきり				※ B種又はC種の場合は改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りしを止めシーラーとする				合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり				※ B種又はC種の場合は改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りしを止めシーラーとする				・ 高反射反射率塗料塗り				下地調整 (改修標準仕様書7.2.2)		・ A種 ※B種 ・ RC種		工程	塗料の種類	塗料の他	塗付量 (kg/m2)	規格番号	規格名称	種類	等級	塗料塗り JIS K 5675	屋根用高白剤	2種	1級 ・ 2級 ・ 3級		反射率塗料		塗料製造所の仕様による	クリアラッカー塗りA種の工程2の着色				・ 適用しない				ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色				・ 適用しない				・ 適用する (着色剤: ・ 油性顔料着色剤 ・ 溶剤顔料着色剤)				オイルスティン塗りの工程等				特記仕様書 (構造関係) による			
		種別	施工箇所		工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床				※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種別	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ フローリング ボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 15 ・ 12	・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら	・ 8 ・ 15	・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種別	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 天然木化粧合板 フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ A種 ・ 15 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら	・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種別	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 天然木化粧合板 フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ A種 ・ 15 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ フローリング ブロック1等	・ 接着工法	※ なら	・ A種 ・ 12 ・ B種 ・ 12 ・ C種 ・ 12	・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	紙 織物 塩化ビニル チック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・ ・ ・ ・ ・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・ ・ ・ ・ ・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	形状・寸法	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	吸物	色	耐凍害性	耐滑	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	(mm)	I類 II類 III類	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	有 無	有 無	標準 特注	有 無	有 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保水率	30.0%以上	吸水率	50以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
長さ変化率	0.2%以下 (収縮)	単位容積質量	1.80 kg/L以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	形状・寸法	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	吸物	色	耐凍害性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	(mm)	の適用	I類 II類 III類	有 無	有 無	標準 特注	有 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
下地調整の種類	塗替え	新規	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○木部	※R種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 鉄鋼面 (DP以外)	※R種	・ C種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 鉄鋼面 (DP)	※R種	・ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 垂れめつき面	※R種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ モルタル面、せつこうプラスター面	※R種	・ A種 ・ B種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ コンクリート面 (DP以外)	※R種	・ B種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ ALCパネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 押出成形セメント板面 (DP)	・ R種	・ RC種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ コンクリート面	※R種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ せつこうボード面、その他ボード面	※R種	・ A種 ・ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面	SOP	塗装面		塗料の種類		工程の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		新規見え隠れ	塗替え	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
EP-G	新規見え隠れ	新規見え隠れ	塗替え	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		塗替え	塗替え	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
DP	新規	新規	塗替え	7.4.2(1)(イ)による	7.4.2(1)(イ)(b)による	・ A種 (下地調整RA種)	・ B種 (下地調整RB種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		塗替え	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種 (下地調整RC種)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
垂れめつき鋼面	SOP	新規鋼製建具等	塗替え	・ A種 ・ B種	・ A種	・ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		新規その他	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
EP-G	新規鋼製建具等	新規その他	塗替え	・ C種	・ A種	・ B種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		塗替え	塗替え	・ A種	・ B種	・ C種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
DP	新規	新規	塗替え	・ B種	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		塗替え	塗替え	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
塗装の種類	塗装面	工程																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 合成樹脂塗合ベント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
塗料の種類 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	垂れめつき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	上塗り等級 () 級	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	亜鉛メッキ鋼面	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	上塗り等級 () 級	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種	・ A-1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ B-1種 ・ B-2種	・ B-1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ C-1種 ・ C-2種	・ C-1種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	モルタル面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	せつこうプラスター面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	せつこうボード面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	屋内木部	※A種	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	屋内鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	屋内垂れめつき面	※A種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ スティン塗り ・ オイルスティン塗り (OS)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○木材保護塗料塗り (W.P)		・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せつこうプラスター面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしきり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※ B種又はC種の場合は改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りしを止めシーラーとする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※ B種又はC種の場合は改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りしを止めシーラーとする																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 高反射反射率塗料塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
下地調整 (改修標準仕様書7.2.2)		・ A種 ※B種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
工程	塗料の種類	塗料の他	塗付量 (kg/m2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
規格番号	規格名称	種類	等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
塗料塗り JIS K 5675	屋根用高白剤	2種	1級 ・ 2級 ・ 3級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	反射率塗料		塗料製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
クリアラッカー塗りA種の工程2の着色																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 適用する (着色剤: ・ 油性顔料着色剤 ・ 溶剤顔料着色剤)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
オイルスティン塗りの工程等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
特記仕様書 (構造関係) による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

特記仕様書(構造関係)

8 耐震改修工事 共通事項

8-1 鉄筋工事

8-2 コンクリート工事

8-3 鉄骨工事

Table with 3 columns: Item No., Description, and Reference. Contains detailed specifications for seismic renovation, including reinforcement and concrete work.

Table with 3 columns: Item No., Description, and Reference. Contains detailed specifications for reinforcement and concrete work, including material properties and testing methods.

Table with 3 columns: Item No., Description, and Reference. Contains detailed specifications for concrete and masonry work, including material types and construction methods.

Table with 3 columns: Item No., Description, and Reference. Contains detailed specifications for steel structure work, including material types and construction methods.

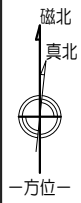
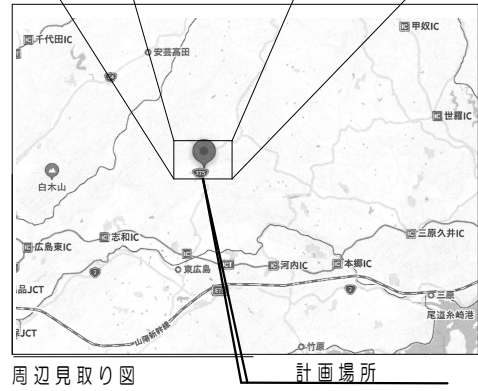
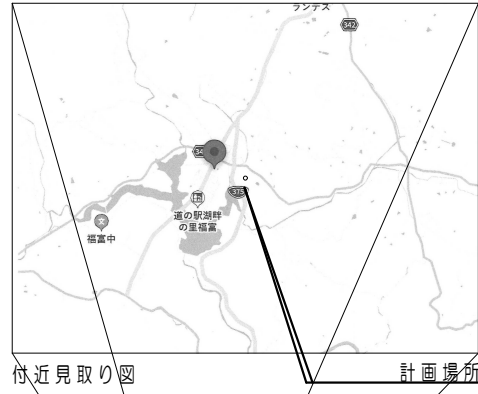
名称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.2.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 1.0mm以上	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm
改修前							
改修後							
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量: 西 南 北 0.02 0.00 0.56 m ²	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※見上げ面については、③を省略する。 参考数量:	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 ※0.2mm未満の場合は、標仕4.2.7 シール工法による 参考数量: ひび割れ幅 0.2mm未満 (26.33 4.62 8.16) m ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.90 0.20 1.50) m () 内は挙動ひび割れ数量を示す	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量:	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量:		
名称		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	C-1 打放し面錆鉄筋部処理	C-1 打放し面錆鉄筋部処理
改修前							
改修後							
工程	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () () 内は挙動ひび割れ数量を示す	①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		
名称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		E 浮き部処理	
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理	D-1 モルタル面はつり	D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]
改修前							
改修後							
工程	①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③峽幅部:	①一般部分標準グリッド (250×250) ③峽幅部 (指定部以外の部分) (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅部分等) ● アンカーピン固定部		

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13]	
改修前	改修後		
工程		<p>①ピン固定部穿孔 一般部 - ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 - ケ所 ⑩穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9 ケ所 指定部 - ケ所 指定部 - ケ所 指定部 16 ケ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 - ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 - ケ所 ⑪サンダーケレン 一般部 - ケ所 指定部 - ケ所 指定部 - ケ所 ⑫高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) 指定部 - ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 - ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 - ケ所 ⑬セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 指定部 - ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 - ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 - ケ所 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 指定部 - ケ所 指定部 - ケ所 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③峽幅部:</p>	
		<p>①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口</p>	

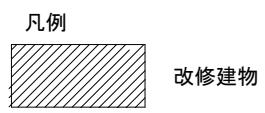
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	
改修前	改修後		
工程		<p>①ピン固定部穿孔 一般部 - ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 - ケ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 指定部 - ケ所 指定部 - ケ所 指定部 - ケ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 - ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 - ケ所</p> <p>③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 - ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 - ケ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 - ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※リマセメントモルタル] 一般部 - ケ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [※リマセメントモルタル] 一般部 - ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 - ケ所</p> <p>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) 指定部 - ケ所</p> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③峽幅部:</p>	
		<p>D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.4.15]</p> <p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ] ※低振動を用いた施工と同等品以上とすること。</p> <p>参考数量: 2802枚</p>	

名称		E 欠損部処理		F 外壁複合改修工法							
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4.2.8]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.2.3]							
改修前	改修後										
工程		<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③欠損はつり部埋戻し [※リマセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量: 西 南 北 0.60 0.00 0.29 m²</p>		<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※リマセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量:</p>		<p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④欠損はつり部埋戻し [※リマセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量:</p>		<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p> <p>*印寸法は80程度とする</p>			
				<table border="1"> <tr> <td>参考数量</td> <td>ネット張り</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>m</td> </tr> </table>		参考数量	ネット張り	m ²		水切	m
参考数量	ネット張り	m ²									
	水切	m									

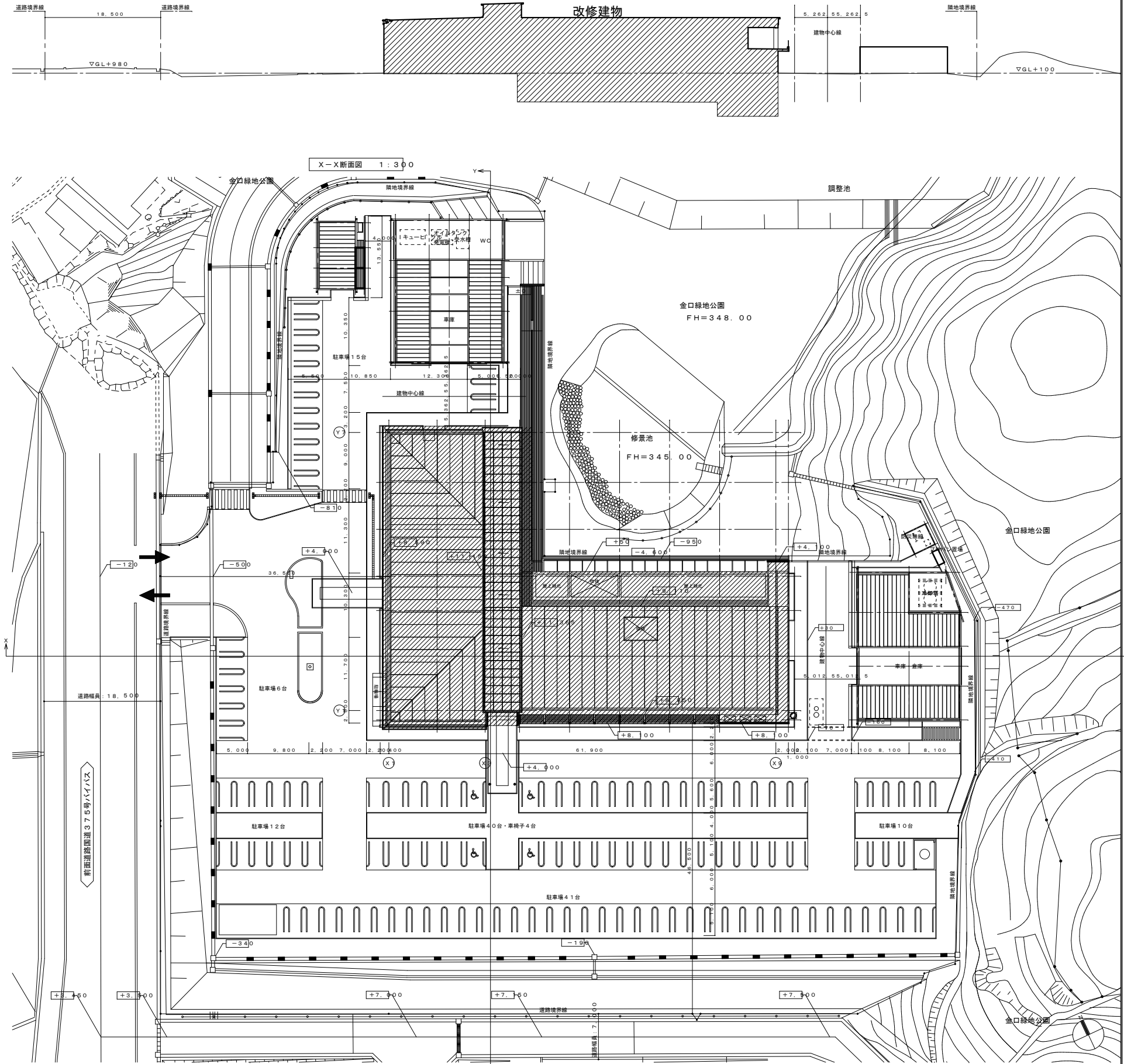
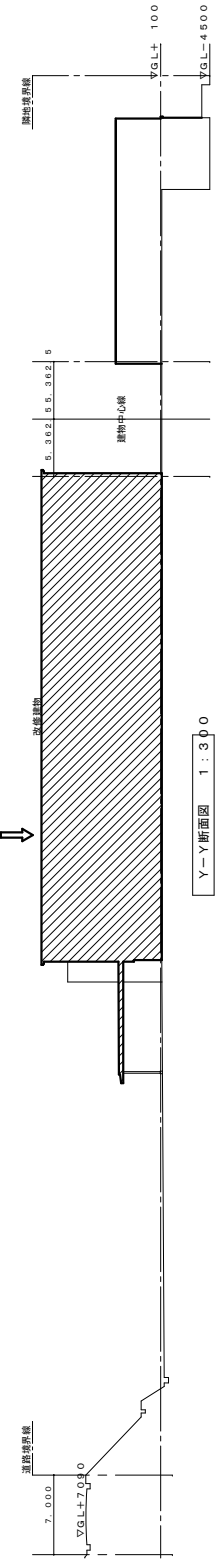
事務所名	株式会社 小西建築設計事務所 1級建築士事務所 広島県登録22(1)第0861号 管理建築士 1級建築士登録第320842号 大塚 規正	日付		備考		縮尺	A2版 100% A3版 70.7%	工事名	令和8年度 庁舎管理事務所 福富支所外部等改修工事	図面名称	外壁改修工事特記仕様書(2)	縮尺		図面番号	A-62 枚の内 9号図	' 250604
------	---	----	--	----	--	----	-----------------------	-----	---------------------------	------	----------------	----	--	------	--------------------	----------



- 【改修概要】**
- 屋根改修 (X1~X3通り)
 - ・谷樋及び軒先を撤去し、屋根新設
 - ・外軒樋及び外樋の新設
 - 外壁劣化部の補修 (X1~X3通り)
 - ・ひび割れ補修
 - ・浮きタイルの固定
 - ・建具廻りのシーリングの撤去及び新設
 - 1階緑化部分を撤去の上、塗膜防水
 - エントランス庇に樋新設
 - 雨漏り跡のある天井の張替
 - 地階光庭にアルミ製庇新設



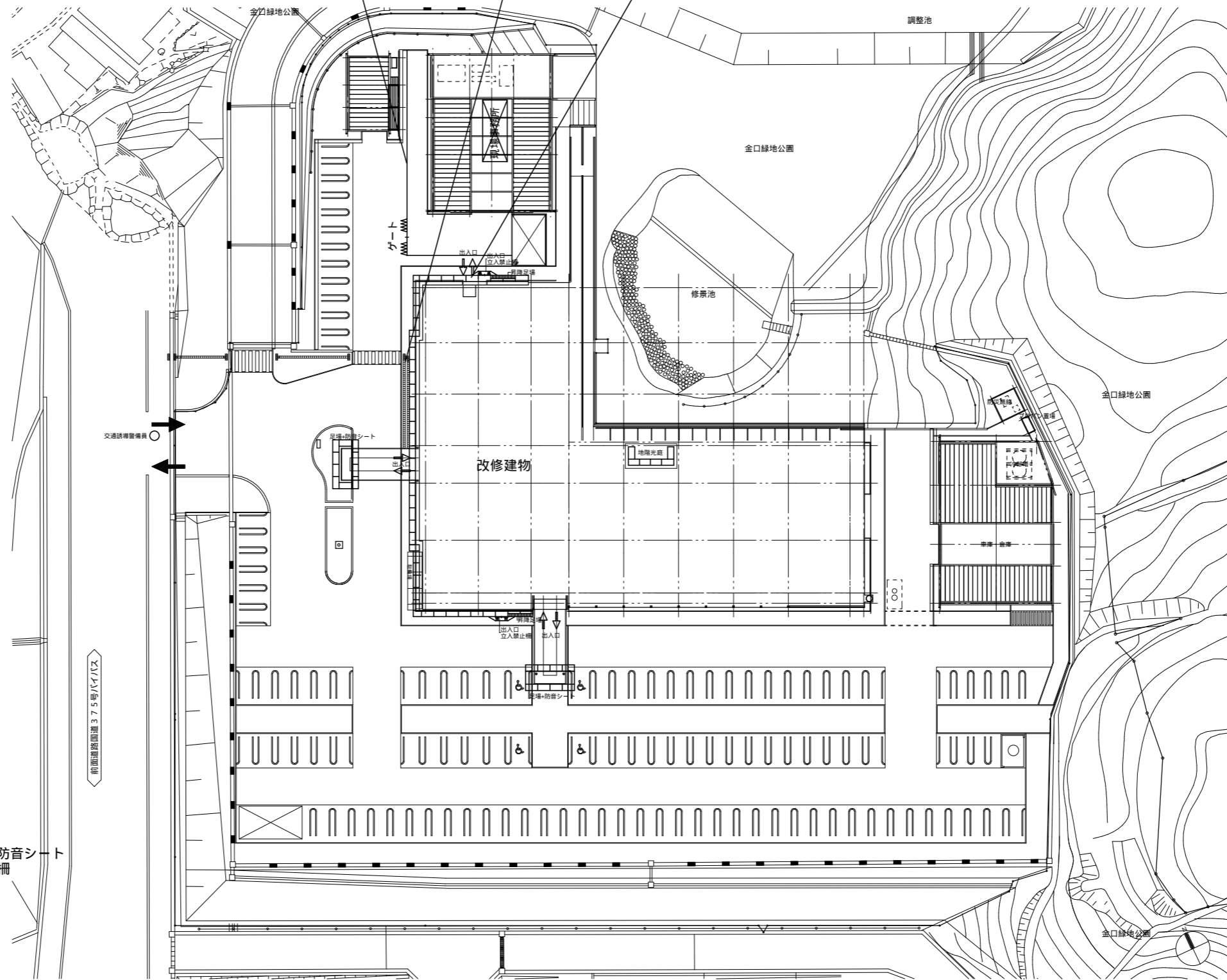
改修建物 →



指定仮設
 仮囲いH=2.0m L=45.2m
 ゲートH4.5m×W7.2m 1カ所

指定仮設
 仮設用点字パネル L=12.85m

出入口の通路を確保すること
 通路幅2.0m、頭上養生すること



凡例

- くさび緊結式手摺先行足場枠幅900+防音シート
- 作業員出入口
- 立入禁止柵
- 立入禁止柵
- 出入口
- 現場事務所(位置は協議の上)

仮設計画図 1/500

事務所名	株式会社 小西建築設計事務所	日付	備考	縮尺 A2版 100% A3版 70.7%	工事名	図面名称	縮尺	図面番号	A-62 枚の内 11号図	' 250604
	1級建築士事務所広島県登録22(1)第0861号 管理建築士 1級建築士登録第320842号 大塚規正									

内外仕上表

A 外部仕上		改修前		改修後		C 略記号																		
屋根(X1~X3)	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=0.5立ハゼ葺	屋根(X1~X3)	既存のまま	屋根(X1~X3)	既存のまま	GL	:設計グランドライン	Fix	:ハメ殺し															
	下地アスファルトルーフィング22kg・木毛セメント板t=40・グラスウールボード64kg t=25		既存のまま		既存のまま	FL	:床ライン	EXP	:エキスパンションジョイント															
(軒先)	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=0.5立ハゼ葺 撤去	(軒先)	カラーガルバリウム鋼板t=0.5(立ハゼ葺) 新設	(軒先)	カラーガルバリウム鋼板t=0.5(立ハゼ葺) 新設	PS	:パイプシャフト (WPS) 一衛生 (EPS) 二電気	AP	:アクリル樹脂エナメル															
	下地アスファルトルーフィング22kg・木毛セメント板t=40・グラスウールボード64kg t=25 撤去		下地ゴムアスルーフィングt=1.0・耐火野地板t=18 新設		下地ゴムアスルーフィングt=1.0・耐火野地板t=18 新設	AD	:エアダクト	OP	:合成樹脂適合イベント															
(軒鼻板)	アルミパネル(アクリル樹脂焼付塗装t=2加工) 裏面グラウト吹付t=3・水切SJS L-90x50x6 撤去	(軒鼻板)	カラーガルバリウム鋼板t=1.6加工 新設	(軒鼻板)	カラーガルバリウム鋼板t=1.6加工 新設	UB	:ユニットバス	FP	:フタル酸樹脂エナメル															
(外壁)	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=1.6 裏面グラウト吹付t=3 下地軽間60 撤去					CB	:コンクリートブロック	OS	:油性ステイン															
						LGS	:軽量鉄骨下地	OSW	:オイルステインワックス															
谷樋(X1~X3)	SUSt=0.8加工シームレス防水 下地木毛セメント板t=25・グラスウールボードt=25 撤去	軒樋(X1~X3)	軒樋塩ビカラー前高V500排水勾配3/1000以上) 支持金物Zn-450@ 新設	軒樋(X1~X3)	軒樋塩ビカラー前高V500排水勾配3/1000以上) 支持金物Zn-450@ 新設	GB	:石膏ボード	CL	:クリヤラッカー															
		縦樋(X1~X3)	縦樋塩ビカラーVP150受金具Zn-1100@ 新設	縦樋(X1~X3)	縦樋塩ビカラーVP150受金具Zn-1100@ 新設	GB(T)	:化粧石膏ボード(トラバーチン模様)	EP	:合成樹脂エマルジョンイベント															
		エントランス	エントランスVP75受金具Zn-1100@ 新設	エントランス	エントランスVP75受金具Zn-1100@ 新設	GB(W)	:化粧石膏ボード(木目模様)	GEP	:艶有り合成樹脂エマルジョンイベント															
木製ルーバー	杉材50*150・30*150テーパー付、木材保護着色塗装 取外し・再利用	木製ルーバー	杉材50*150・30*150テーパー付 再取付 下地調整の上、木材保護着色塗装 【塗装改修】	木製ルーバー	杉材50*150・30*150テーパー付 再取付 下地調整の上、木材保護着色塗装 【塗装改修】	GB(S)	:耐水石膏ボード	VE	:塩化ビニル樹脂エナメル															
						RB	:ロックウール吸音板	SEP	:酢酸ビニル樹脂エナメル															
2階屋上テラス	:アスファルト防水の上、外断熱用押出発泡ポリスチレンt=25の上 押えコンクリートt=60 (ワイヤーメッシュφ6@100) 伸縮目地@3000内外、モルタル下地 磁器質タイル150角貼	2階屋上テラス	:既存のまま 【高圧洗浄】	2階屋上テラス	:既存のまま 【高圧洗浄】	NB	:無石棉セメントけい酸カルシウム板	SP	:薄付仕上塗材															
						ALC板	:軽量気泡コンクリートパネル	MC	:複層仕上塗材															
						<>	:材厚・仕上厚	UP	:ウレタンリリヤー (艶無し)															
						▲	:仕上見切位置	EPm	:SK、憩いの森 同等品以上															
						🌀	:コーキング位置	FS	:SK、セラミタウンシリーズ 同等品以上															
軒天(2階屋上テラス):LGS下地岩面吸音板<9> 一部仕上撤去捨貼共		軒天(2階屋上テラス):GB12.5捨貼、岩綿吸音板<9> 新設		軒天(2階屋上テラス):GB12.5捨貼、岩綿吸音板<9> 新設		特記事項																		
						【※撤去範囲41号図参照】																		
1階屋上緑化	:アスファルト防水の上、押えコンクリートt=60(ワイヤーメッシュφ6@100)は残置し 伸縮目地@3000内外、屋上緑化システム(軽量人工土壌t=300)は撤去	1階屋上緑化	:押えコンクリートt=60(ワイヤーメッシュφ6@100)上、下地調整の上、ウレタン塗膜防水新設 各区画ごとにオーバーフローSUSφ50 改修用ドレン、脱気装置各1ヶ所を取付	1階屋上緑化	:押えコンクリートt=60(ワイヤーメッシュφ6@100)上、下地調整の上、ウレタン塗膜防水新設 各区画ごとにオーバーフローSUSφ50 改修用ドレン、脱気装置各1ヶ所を取付	<ul style="list-style-type: none"> ・図中記載寸法は、木材を含めて仕上げ寸法を示す。 ・コンクリート打放しかぶりは、25mmとし、柱梁壁等出隅部分は、原則として特記なき限り、mm面取りとする。又、目地切は、見付mm、深さmm、ピッチは図示に依る。 ・図中モルタルとあるは、モルタル金こて押えを示す。 ・特記なき限り左官塗厚は、下表に依る。 																		
		地階光庭	アルミ製小庇(壁芯より1m以内)三方新設・取合シーリング仕舞	地階光庭	アルミ製小庇(壁芯より1m以内)三方新設・取合シーリング仕舞	<table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>床</th> <th>壁</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>内部</td> <td>・30</td> <td>・20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外部</td> <td>・30</td> <td>・25</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				箇所	床	壁			内部	・30	・20			外部	・30	・25		
箇所	床	壁																						
内部	・30	・20																						
外部	・30	・25																						
		外部シーリング打替え	建具及び外壁取合部シーリン打替え【※対象建具46、47号図参照】	外部シーリング打替え	建具及び外壁取合部シーリン打替え【※対象建具46、47号図参照】																			

B 内部下地凡例		改修前		改修後		C 略記号																																																																																				
下地符号	床	下地符号	壁	下地符号	天井	※内部出隅部分は、特記なき限り、mm面取りとする。																																																																																				
①	コンクリート金線押え	①	コンクリート打放し	①	コンクリート打放し	・特記なき限りタイル部分仕上厚は、下表に依る。																																																																																				
②	コンクリート カラー練りモルタル	②	コンクリート打放し補修	②	LGS下地	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>床モザイクタイル等</th> <th>壁磁器タイル等</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>内部</td> <td>・50</td> <td>・30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外部</td> <td>・50</td> <td>・50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			床モザイクタイル等	壁磁器タイル等			内部	・50	・30			外部	・50	・50																																																																						
	床モザイクタイル等	壁磁器タイル等																																																																																								
内部	・50	・30																																																																																								
外部	・50	・50																																																																																								
③	コンクリート金線押え 防塵塗装 OAフロア(H=100)	③	コンクリート GB<12.5>(GL工法)*外壁廻りは硬質ウレタンフォーム<25>	③	LGS下地 GB<9.5>捨貼	・外部サッシュ廻りとり結めは、防水モルタルとする。																																																																																				
④	木床組	④	LGS<65>下地 GB<12.5>下貼り	④	LGS下地 GB<12.5>捨貼	・天井、壁当りは、特記なき限り、塩ビ製ジョイナーとする。																																																																																				
⑤	コンクリート フェルト<8>	⑤	LGS<65>下地 耐水GB<12.5>下貼り	⑤	LGS下地 ケイカル板<6>下貼り(目透)	・特記なき限り、天井下地組は、軽量鉄骨下地とする。																																																																																				
⑥	木床組 ラワン合板<12>下貼り	⑥	LGS<75>下地 グラスウール<50>充填 ケイカル板<24+8>下貼り	⑥	LGS下地 ケイカル板<6>下貼り(突付)	・ステンレス鋼は、特記なき限りSUS304製とする。																																																																																				
		⑦	押出成形セメント板+吸音材			<table border="1"> <tr> <th>材種・規格</th> <th>厚さ(mm)等</th> <th>材名</th> <th>防火種別</th> <th>下地種別</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">石膏ボード JISA 6901規格品</td> <td>※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9828 ・12.5(不燃認定品) 不燃 NM-8619 ・15(不燃認定品) 不燃 NM-8612</td> <td rowspan="2">紙製壁紙</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化粧石膏ボード (トラバーチン模様) JISA 6901</td> <td>※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9824 ・9.5(不燃認定品) 不燃 NM-0441,0296</td> <td rowspan="2">繊維製壁紙</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化粧石膏ボード (杉板目プリント) JISA 6901規格品</td> <td>※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9824 下地共メーカー仕様による ・12.5(不燃認定品) 不燃 NM-0127</td> <td rowspan="2">プラスチック製壁紙 塩化ビニール</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吸音用穴あき石膏ボード JISA 6901</td> <td>※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9827 不燃性炭素繊維入り</td> <td rowspan="2">プラスチック その他 プラスチック</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・準不燃下地 ・難燃 RM-****</td> </tr> <tr> <td>・金属下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化粧石膏吸音ボード</td> <td>・9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9822</td> <td rowspan="2">プラスチック その他 プラスチック</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロックウール化粧吸音板 JISA 6307規格品</td> <td>・9(不燃認定品) ・12(不燃認定品) ・15(不燃認定品) NM-8599</td> <td rowspan="2">無機質壁紙</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・金属下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロックウール吸音材 JISA 6303規格品</td> <td>※25(不燃認定品) ロックウール吸音ベルト1号</td> <td rowspan="2">その他</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">グラスウール吸音材 JISA 6306規格品</td> <td>※25(不燃認定品) ・50・100 グラスウール吸音ボード2号32K</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無石棉セメント けい酸カルシウム板 JISA 5418</td> <td>・6・8・10・12 (不燃認定品) NM-9029</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・難燃 RM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収納石膏ボード</td> <td>吉野石膏 収納ボード 種 12.5 NM-8614 同等品</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・金属下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐水石膏ボード</td> <td>吉野石膏 タイガー不燃防水ボード 12.5 9.5 NM-9639 同等品</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・不燃下地 ・不燃 NM-****</td> </tr> <tr> <td>・不燃GB下地 ・準不燃QM-****</td> </tr> </table>		材種・規格	厚さ(mm)等	材名	防火種別	下地種別	防火性能	石膏ボード JISA 6901規格品	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9828 ・12.5(不燃認定品) 不燃 NM-8619 ・15(不燃認定品) 不燃 NM-8612	紙製壁紙			・不燃下地 ・不燃 NM-****	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****	化粧石膏ボード (トラバーチン模様) JISA 6901	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9824 ・9.5(不燃認定品) 不燃 NM-0441,0296	繊維製壁紙			・不燃下地 ・不燃 NM-****	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****	化粧石膏ボード (杉板目プリント) JISA 6901規格品	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9824 下地共メーカー仕様による ・12.5(不燃認定品) 不燃 NM-0127	プラスチック製壁紙 塩化ビニール			・不燃下地 ・不燃 NM-****	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****	吸音用穴あき石膏ボード JISA 6901	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9827 不燃性炭素繊維入り	プラスチック その他 プラスチック			・準不燃下地 ・難燃 RM-****	・金属下地 ・不燃 NM-****	化粧石膏吸音ボード	・9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9822	プラスチック その他 プラスチック			・不燃下地 ・不燃 NM-****	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****	ロックウール化粧吸音板 JISA 6307規格品	・9(不燃認定品) ・12(不燃認定品) ・15(不燃認定品) NM-8599	無機質壁紙			・不燃下地 ・不燃 NM-****	・金属下地 ・不燃 NM-****	ロックウール吸音材 JISA 6303規格品	※25(不燃認定品) ロックウール吸音ベルト1号	その他			・不燃GB下地 ・準不燃QM-****	・不燃下地 ・不燃 NM-****	グラスウール吸音材 JISA 6306規格品	※25(不燃認定品) ・50・100 グラスウール吸音ボード2号32K				・不燃下地 ・不燃 NM-****	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****	無石棉セメント けい酸カルシウム板 JISA 5418	・6・8・10・12 (不燃認定品) NM-9029				・不燃下地 ・難燃 RM-****	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****	収納石膏ボード	吉野石膏 収納ボード 種 12.5 NM-8614 同等品				・不燃下地 ・不燃 NM-****	・金属下地 ・不燃 NM-****	耐水石膏ボード	吉野石膏 タイガー不燃防水ボード 12.5 9.5 NM-9639 同等品				・不燃下地 ・不燃 NM-****	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****
材種・規格	厚さ(mm)等	材名	防火種別	下地種別	防火性能																																																																																					
石膏ボード JISA 6901規格品	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9828 ・12.5(不燃認定品) 不燃 NM-8619 ・15(不燃認定品) 不燃 NM-8612	紙製壁紙			・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																									
化粧石膏ボード (トラバーチン模様) JISA 6901	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9824 ・9.5(不燃認定品) 不燃 NM-0441,0296	繊維製壁紙			・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																									
化粧石膏ボード (杉板目プリント) JISA 6901規格品	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9824 下地共メーカー仕様による ・12.5(不燃認定品) 不燃 NM-0127	プラスチック製壁紙 塩化ビニール			・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																									
吸音用穴あき石膏ボード JISA 6901	※9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9827 不燃性炭素繊維入り	プラスチック その他 プラスチック			・準不燃下地 ・難燃 RM-****																																																																																					
	・金属下地 ・不燃 NM-****																																																																																									
化粧石膏吸音ボード	・9.5(準不燃認定品) 準不燃 QM-9822	プラスチック その他 プラスチック			・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																									
ロックウール化粧吸音板 JISA 6307規格品	・9(不燃認定品) ・12(不燃認定品) ・15(不燃認定品) NM-8599	無機質壁紙			・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・金属下地 ・不燃 NM-****																																																																																									
ロックウール吸音材 JISA 6303規格品	※25(不燃認定品) ロックウール吸音ベルト1号	その他			・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																					
	・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																									
グラスウール吸音材 JISA 6306規格品	※25(不燃認定品) ・50・100 グラスウール吸音ボード2号32K				・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																									
無石棉セメント けい酸カルシウム板 JISA 5418	・6・8・10・12 (不燃認定品) NM-9029				・不燃下地 ・難燃 RM-****																																																																																					
	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																									
収納石膏ボード	吉野石膏 収納ボード 種 12.5 NM-8614 同等品				・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・金属下地 ・不燃 NM-****																																																																																									
耐水石膏ボード	吉野石膏 タイガー不燃防水ボード 12.5 9.5 NM-9639 同等品				・不燃下地 ・不燃 NM-****																																																																																					
	・不燃GB下地 ・準不燃QM-****																																																																																									

C 建築基準法凡例		改修前		改修後		C 略記号	
内装制限		排煙種別					
Ⓢ	仕上材を難燃材料以上とする。	Ⓝ	自然排煙	(1)	建告1436号四ハ(1)		
Ⓢ	仕上材を準不燃材料以上とする。	Ⓜ	機械排煙	(2)	建告1436号四ハ(2)		
Ⓢ	下地、仕上材を難燃材料以上とする。			(3)	建告1436号四ハ(3)		
Ⓢ	仕上材を不燃材料以上とする。			(4)	建告1436号四ハ(4)		
Ⓢ	下地、仕上材を不燃材料以上とする。						
D 備考欄							
下地材		断熱・防湿・耐火被覆		その他			
・下地GLはGL工法を示す。		・天井LGSは特記なき限り		・天井点検口はアルミ枠の天井仕上同材とする。			
・特記なき限りコンクリート壁に面する内壁はGL工法とする。		(内部) 19形					
・特記なき限り壁LGSはスタッドの高さにより施工する。		(外部) 25形					
高	4 m以下 → 65形						
高	4~4.5 m以下 → 90形						
高	4.5~5 m以下 → 100形						

内部仕上表

凡例： 改修を行う室を示す。 【 】改修工事の内容を示す。それ以外の部分は現状のままとする。 既存のままを示す。

E 内部仕上																	
階	改修	室名	内装制限	排煙設備	下地符号	床	巾木	H	下地符号	壁	下地符号	天井	廻縁	床高	天井高	備考	
1	-	支所室1	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り(シャッター廻り) ビニルクロス張り(下り壁廻り)		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800		
	-	北部地域包括支援センター	⊕	(4)		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800		
	-	相談室1・2	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800		
	-	電算室	⊕	(4)		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800	(-100)	
	-	印刷室・書庫	-	(2)		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800	(-100)	
	-	耐火書庫	-	(2)		ビニルタイル<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	±0	2,400		
	-	廊下1	準	Ⓝ		ビニルタイル<3>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り (耐火区画)ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	±0	2,800		
	-	廊下2	準	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800		
	-	トイレ1	-	(2)		ビニル床シート<2>				陶器質タイル100*100 陶器質タイル100*100		VE塗装	塩ビ製	±0	2,400		
	-	宿直防災室	⊕	(4)		ビニルタイル<2> 畳<55>敷き	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	±0	2,600	+200	
	-	更衣室	-	(2)		ビニルタイル<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	±0	2,400		
	-	給湯室	-	(2)		ビニル床シート<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	±0	2,600		
	-	ホール	⊕	Ⓝ		石張り<25>(花崗岩)	石張り<25>(花崗岩)	100		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	3,000	10,000	
			エントランスホール	⊕	Ⓝ		石張り<25>(花崗岩)	石張り<25>(花崗岩)	100		ビニルクロス張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏43号図参照	塩ビ製	±0	3,000	【天井廻縁の部分改修を含む】
	-		リラクゼーションホール	⊕	Ⓝ		石張り<25>(花崗岩)	石張り<25>(花崗岩)	100		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	3,000	【天井仕上部分改修に伴う照明器具4ヶ所の脱着】
	-		風除室1	⊕	-		石張り<25>(花崗岩)	石張り<25>(花崗岩)	100	-	コンクリート打放し		アルミスパンドレル	アルミ	±0	2,600	
	-		風除室2	⊕	-		石張り<25>(花崗岩)	石張り<25>(花崗岩)	100		ビニルクロス張り		アルミスパンドレル	アルミ	±0	2,600	
	-		ATMコーナー	⊕	(2)		石張り<25>(花崗岩)	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	3,000	

内部仕上表

凡例： 改修を行う室を示す。 【 】改修工事の内容を示す。それ以外の部分は現状のままとする。 既存のままを示す。

E 内部仕上																
階	改修	室名	内装制限	排煙設備	下地符号	床	巾木	H	下地符号	壁	下地符号	天井	廻縁	床高	天井高	備考
1		会議室	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	75		無機質壁紙張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏43号図参照	塩ビ製 (-100)	±0	3,000	【天井廻縁の部分改修を含む】
	-	支所室2	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	75		無機質壁紙張り		RB<9>張り	塩ビ製 (-100)	±0	3,000	
	-	エレベーターホール	⊕	-		石張り<25>(花崗岩)	石張り<25>(花崗岩)	100		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,600	
	-	階段室	⊕	-		ゴムタイル<3.7>	-			ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	-	-	
		福祉事務室	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏43号図参照	塩ビ製 (-100)	±0	2,800	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具1ヶ所の脱着】
	-	更衣室	⊕	(2)		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製 (-100)	±0	2,800	
	-	休憩室	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製 (-100)	±0	2,800	
	-	倉庫	-	Ⓝ		ビニルタイル<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	-1.0	2,800	
	-	保健指導室	⊕	Ⓝ		ビニルタイル<2> 量<55>敷き	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		GB(W)<12.5>張り	木製 +200	±0	2,800	2,600
	-	相談1・2・3	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	+3.5	2,800	
		診察・検査室	⊕	Ⓝ		ビニル床シート<2.8>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏43号図参照	塩ビ製	-0.5	2,800	【天井仕上部分改修に伴う照明器具1ヶ所の脱着】
	-	創作工芸室	⊕	Ⓝ		ビニルタイル<3>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800	
	-	記録保存庫	-	(2)		ビニルタイル<2>	ビニル巾木	60		EP塗装		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	-1.0	2,800	
	-	トイレ2	-	(2)		ビニル床シート<2>	-			陶器質タイル100*200		VE塗装	塩ビ製	-1.0	2,400	
	-	トイレ前室	-	-		ビニルタイル<3>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		VE塗装	塩ビ製	±0	2,600	
	-	HDCトイレ	-	(2)		ビニル床シート<2>	-			陶器質タイル100*200		VE塗装	塩ビ製	-1.0	2,400	
	-	廊下3	⊕	Ⓝ		石張り<25>(花崗岩)	石張り<25>(花崗岩)	100		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	3,000	
		廊下4	⊕	Ⓝ		ビニルタイル<3>	木巾木	90	-	LGS 不燃木製パネル 目透張り@600(H=1200)		RB<9>張り EP塗装 【天井仕上部分貼り替え】天伏43号図参照	塩ビ製	±0	2,600	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具6ヶ所の脱着】
	-	給湯室	-	(2)		ビニル床シート<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	-1.0	2,400	
	-	機械室	-	(2)		防塵塗装	床材立上げ	200		ガラスウールボタン止め<50>	-	ガラスウールボタン止め<50>	-	±0	直天	
	-	配管ピット	-	-		コンクリート金鏝押え	-		-	コンクリート打放し	-	コンクリート打放し	-	-1400	直天	

内部仕上表

凡例： 改修を行う室を示す。 【 】改修工事の内容を示す。それ以外の部分は現状のままとする。 既存のままを示す。

E 内部仕上																	
階	改修	室名	内装制限	排煙設備	下地符号	床	巾木	H	下地符号	壁	下地符号	天井	廻縁	床高	天井高	備考	
2		図書室	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏44号図参照	塩ビ製 (-100)	±0	2,800	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具2ヶ所の脱着】	
		書庫・倉庫	⊕	Ⓝ		ビニルタイル<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏44号図参照	塩ビ製	-4.5	2,800	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具1ヶ所の脱着】	
	-	支所室3	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製 (-100)	±0	2,800		
	-	書庫	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800		
		吹抜廊下・ホール	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<12>張り(キューブ)・CH3000部分 【天井仕上部分貼り替え】天伏44号図参照	塩ビ製	±0	3,000	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具3ヶ所の脱着】	
		会議室	⊕	Ⓝ		ビニル床シート<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り 【壁仕上の貼り替え3m x 3m】天伏44号図参照		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏44号図参照	塩ビ製	±0	2,800	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具2ヶ所の脱着】	
	-	防災無線	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り(既存のまま)	塩ビ製	-4.5	2,800		
	-	トイレ1	-	(2)		ビニル床シート<2>	-	-		陶器質タイル100*100		VE塗装	塩ビ製	-4.5	2,400		
		廊下1	準	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏44号図参照	塩ビ製	±0	2,600	【天井廻縁の部分改修を含む】	
	-	研修室1	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木(新設)	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800		
	-	研修室2	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木(新設)	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,800		
		研修室3	⊕	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木(新設)	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏44号図参照	塩ビ製	±0	2,800	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具1ヶ所の脱着】	
	2	-	小ホール	⊕	Ⓝ		ラワン合板<12>下張りの上 ビニル床シート<2.8>張り	木製巾木	90		木製パネル(練付合板)(腰高1,800) グラスウール内部充填 寒冷紗(暖色) 有孔板(ケイカル板)GEP塗装		RB<9>張り 折上天井:GB<9.5>EP塗装	塩ビ製 (-100)	±0	3,200 3,600 一部2,700	
		-	HDCトイレ (オストメイト対応)	-	(2)		ビニル床シート<2>				陶器質タイル100*200		VE塗装	塩ビ製	-4.5	2,400	
-		トイレ前室	-	-		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,600		
-		トイレ2	-	(2)		ビニル床シート<2>				陶器質タイル100*200		VE塗装	塩ビ製	-4.5	2,400		
-		給湯室	-	(2)		ビニル床シート<2>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	-4.5	2,400		
		廊下2	準	Ⓝ		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り 【天井仕上部分貼り替え】天伏44号図参照	塩ビ製	±0	2,600	【天井廻縁の部分改修を含む】 【天井仕上部分改修に伴う照明器具2ヶ所の脱着】	
-		階段室	⊕	-		ゴムタイル<3.7>				ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製		2,600		
-		エレベーターホール	⊕	-		タイルカーペット<6.5>	ビニル巾木	60		ビニルクロス張り		RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,600		
-		倉庫				ビニル床シート<2>	ビニル巾木	100		押出成形セメント板<60>素地		ジブトーン<9.5>張り	塩ビ製	±0	3,200		

内部仕上表

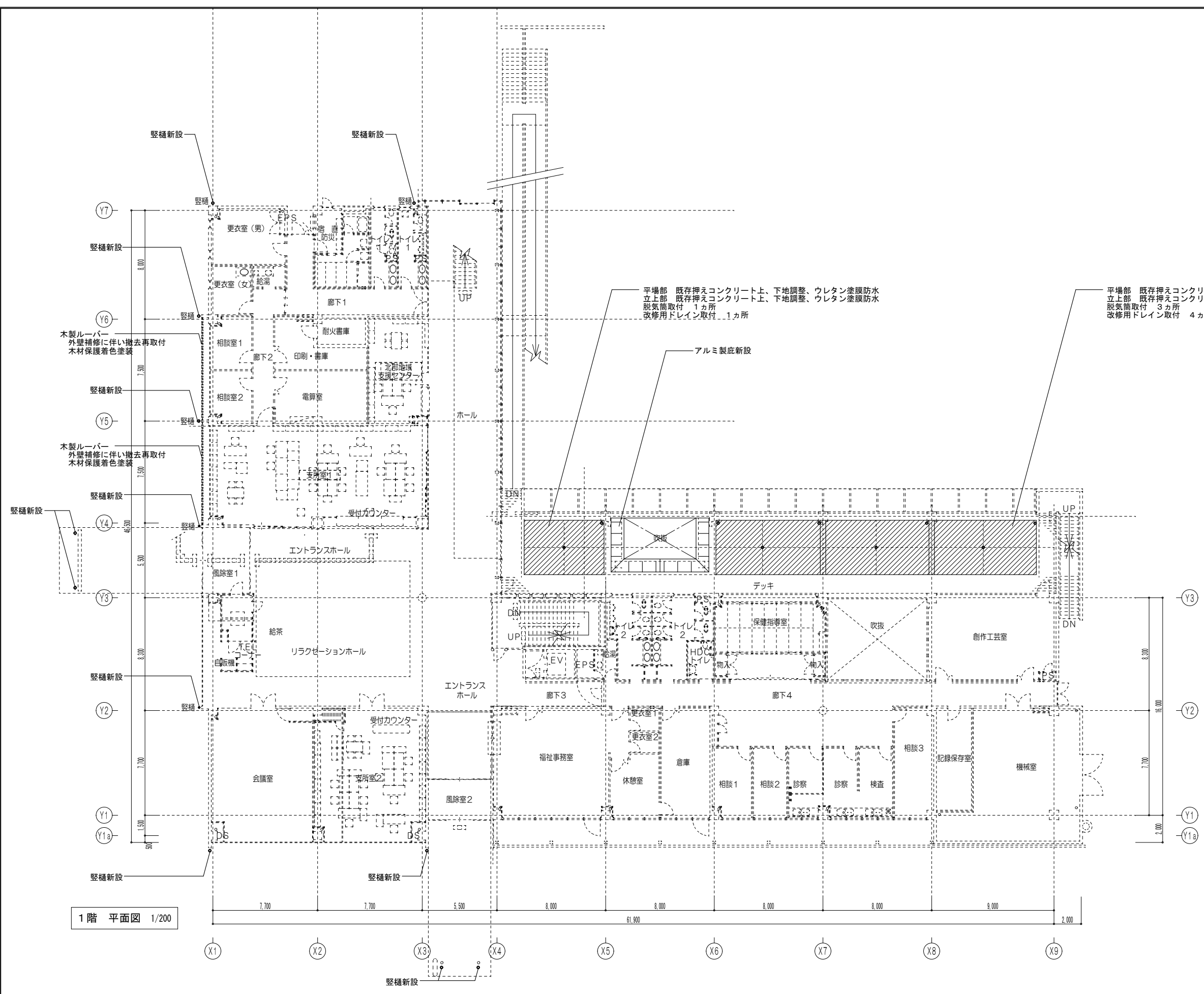
凡例： 改修を行う室を示す。 【 】改修工事の内容を示す。それ以外の部分は現状のままとする。 既存のままを示す。

E 内部仕上																	
階	改修	室名	内装制限	排煙設備	下地符号	床	巾木	H	下地符号	壁	下地符号	天井	廻縁	床高	天井高	備考	
B 1	-	児童室	準	○		コルクタイル<3.2> 量<55>敷き	木巾木	90		不燃木製パネル 目透張り@600(H=1200) 珪藻土塗		GB(W)<12.5>張り	木製	+0.2	3,000		
	-	機能回復訓練室	準	○		コルクタイル<3.2> 量<55>敷き	木巾木	90		不燃木製パネル 目透張り@600(H=1200) 珪藻土塗		GB(W)<12.5>張り	木製	+0.2	3,000		
	-	倉庫2 (機能回復訓練室)	-		(2)		ビニル床シート<2>	ビニル巾木	60		EP塗装		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	-1.0	2,450	
	-	栄養指導室	準	○			フローリング<15> 直張り (クッション材付)	木巾木	90		不燃木製パネル 目透張り@600(H=1200) 珪藻土塗		化粧GB<12.5>張り	木製	±0	3,000	
	-	調理実習室	不	○			フローリング<12> 二重床	木巾木	90		無機質壁紙張り 【壁仕上の部分改修3mx4m】天伏42号図参照		VE塗装	塩ビ製	±0	3,000	(-300)
	-	物入(調理実習室)	不	○	(2)		フローリング<12> 二重床	木巾木	90		無機質壁紙張り		VE塗装	塩ビ製	±0	3,000	(-300)
	-	倉庫(調理実習室)	-		(2)		ビニル床シート<2>	ビニル巾木	60		EP塗装		VE塗装	塩ビ製	-1.2	3,000	
	-	廊下	準	○			コルクタイル<3.2>	木巾木	90		不燃木製パネル 目透張り@600(H=1200) 珪藻土塗		GB(W)<12.5>張り	塩ビ製	±0	2,600	
	-	階段	不	○			ゴムタイル<3.7>	-			GE塗装		RB<9>張り	塩ビ製	±0	3,000	
	-	エレベーターホール	不	○			ゴムタイル<3.7>	木巾木 (新設、一部再取付)	90		ビニルクロス張り		GB(W)<12.5>張り RB<9>張り	塩ビ製	±0	2,600	
	-	倉庫1	-		(2)		ビニル床シート<2>	ビニル巾木	60		EP塗装		化粧GB<12.5>張り	塩ビ製	-1.0	2,600	
	-	トイレ	-		(2)		ビニル床シート<2>	-			陶器質タイル100*200(H=1800) VE塗装		VE塗装	塩ビ製	-1.0	2,400	
	-	トイレ前室	-				ビニル床シート<2>	木巾木	90		無機質壁紙張り		VE塗装	塩ビ製	±0	2,600	
	-	HDCトイレ	-		(2)		ビニル床シート<2>	-			陶器質タイル100*200(H=1800) VE塗装		VE塗装	塩ビ製	-1.0	2,400	
	-	機械室	-		(2)		合成樹脂塗床	床材立上げ	200		グラスウールポタン止め<50>		グラスウールポタン止め t=50	-	-50	直天	
	-	雨水貯留槽	-				ウレタン塗膜防水	-			浸透性防水		コンクリート打放し	-	-2200	直天	(水勾配)
	-	雑用水槽 消火水槽	-				ウレタン塗膜防水	-			浸透性防水		コンクリート打放し	-	-2200	直天	(水勾配)
	-	配管ピット	-				コンクリート金鍍押え	-			コンクリート打放し		コンクリート打放し	-	-2000	直天	
	-	EVピット	-				ウレタン塗膜防水	-			浸透性防水		コンクリート打放し	-	-1250	直天	

凡例 ----- 既存のまま



塗膜防水範囲

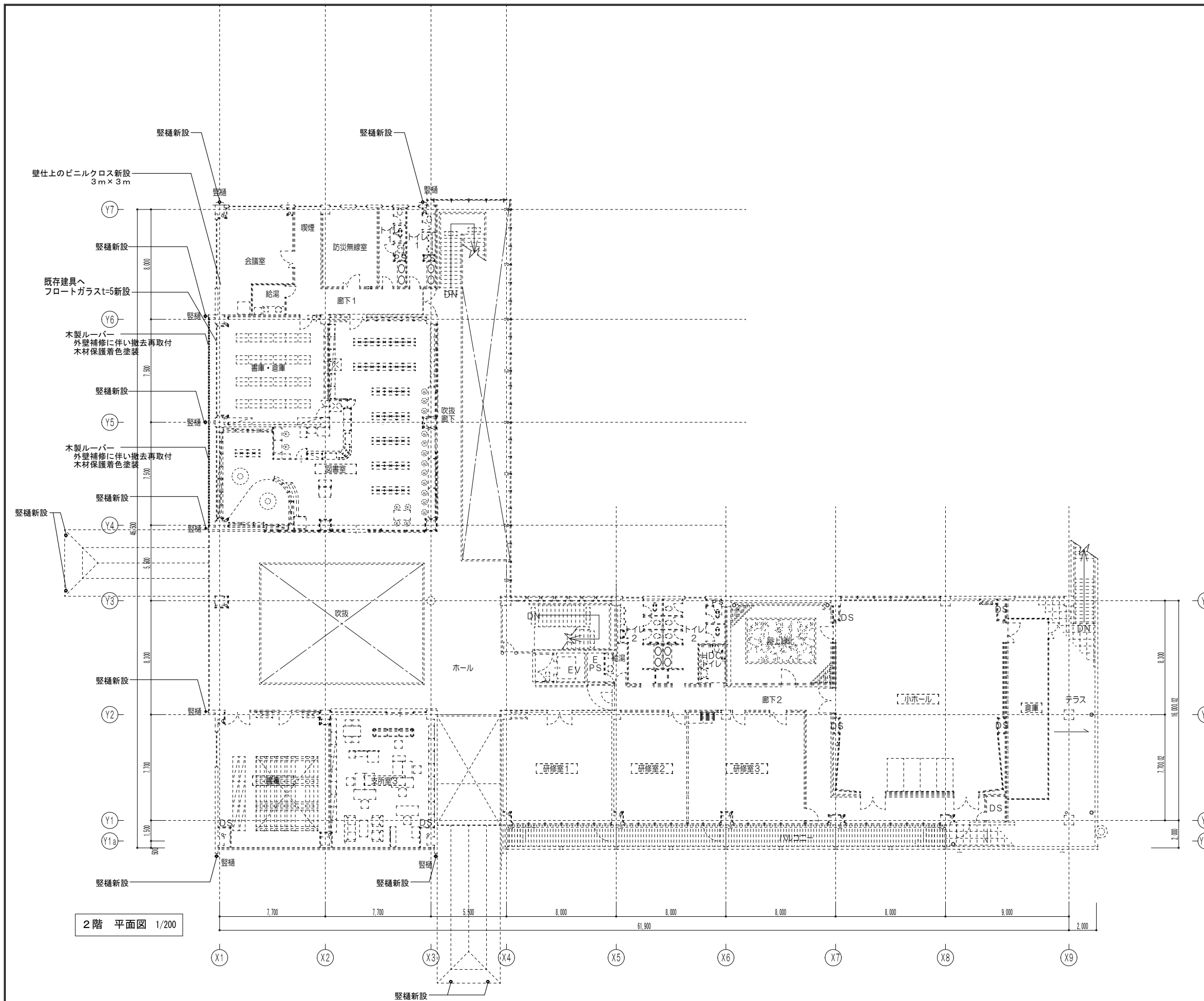


1階 平面図 1/200

凡例	
	防火区分 (兼防煙区分) 準防火構造 1H以上
	防煙区分 (防煙仕切壁) 不燃材仕上りによる
	防煙区分 イ、PB=1.2、5 (不燃第1027号) スチール (建告第1400号) (重れ壁) ロ、ロールスクリーン設置番号 (ROJ-防災-950)
	防火上主要な閉鎖切替 準防煙構造 PB (=1.2、5+9、5層重) (建告1358号) ※ナシ
	非常時閉鎖式特定防火設備
	随時閉鎖式特定防火設備 (煙感連動)
	防火設備 (法2条9号の二ロによる)
	随時閉鎖式防火防煙シャッター (特定防火設備・煙感連動)
	不燃戸
	建設省告示第1436号第4号ハ(二)適用
	建設省告示第1436号第4号ハ(四)適用
	自然排煙窓

凡例	
	コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	押出成形セメント板
	軽量鉄骨壁
	消火器BOX付ABC10型消火器
	屋内消火栓BOX
	床下点検口
	マンホール 600φ

凡例 ----- 既存のまま



凡例	
—	防火区画（兼防煙区画）準防火構造1H以上
—	防煙区画（防煙仕切壁）不燃材料仕上による
—	防煙区画（イ、PB=1.2.5（不燃第1027号）スチール（建告第1400（重鉄壁）ロ、ロールスクリーン認定番号（ROJ-防災-950）
—	防火上主要な開口切壁 準耐火構造 PB（=1.2.5+9.5）準重（建告1358号） ※ナシ
甲	常時閉鎖式特定防火設備
甲	随時閉鎖式特定防火設備（煙感連動）
甲	防火設備（法2条九号の二ロによる）
甲	随時閉鎖式防火防煙シャッター（特定防火設備・煙感連動）
不	不燃戸
②	建設省告示第1436号第4号ハ（二）適用
④	建設省告示第1436号第4号ハ（四）適用
○AW	自然排煙窓

凡例	
—	コンクリート壁
—	コンクリートブロック壁
—	押出成形セメント板
—	軽量鉄骨壁
消	消火器BOX付ABC10型消火器
—	屋内消火栓BOX
□	床下点検口
○M	マンホール 600φ

凡例  撤去範囲



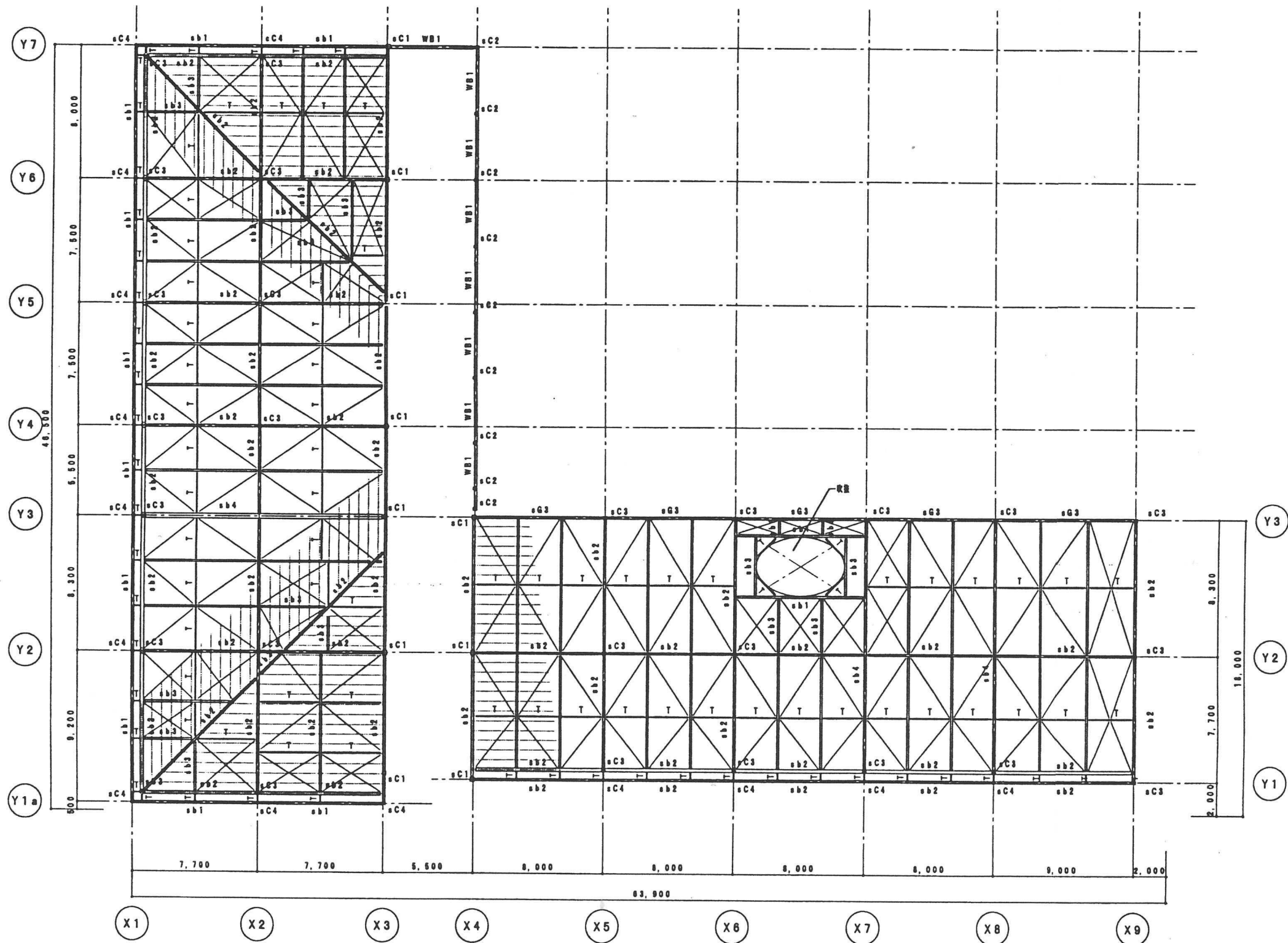
屋根伏図 1/200

凡例 ----- 既存のまま



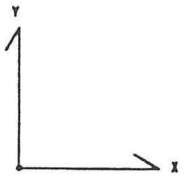
屋根伏図 1/200

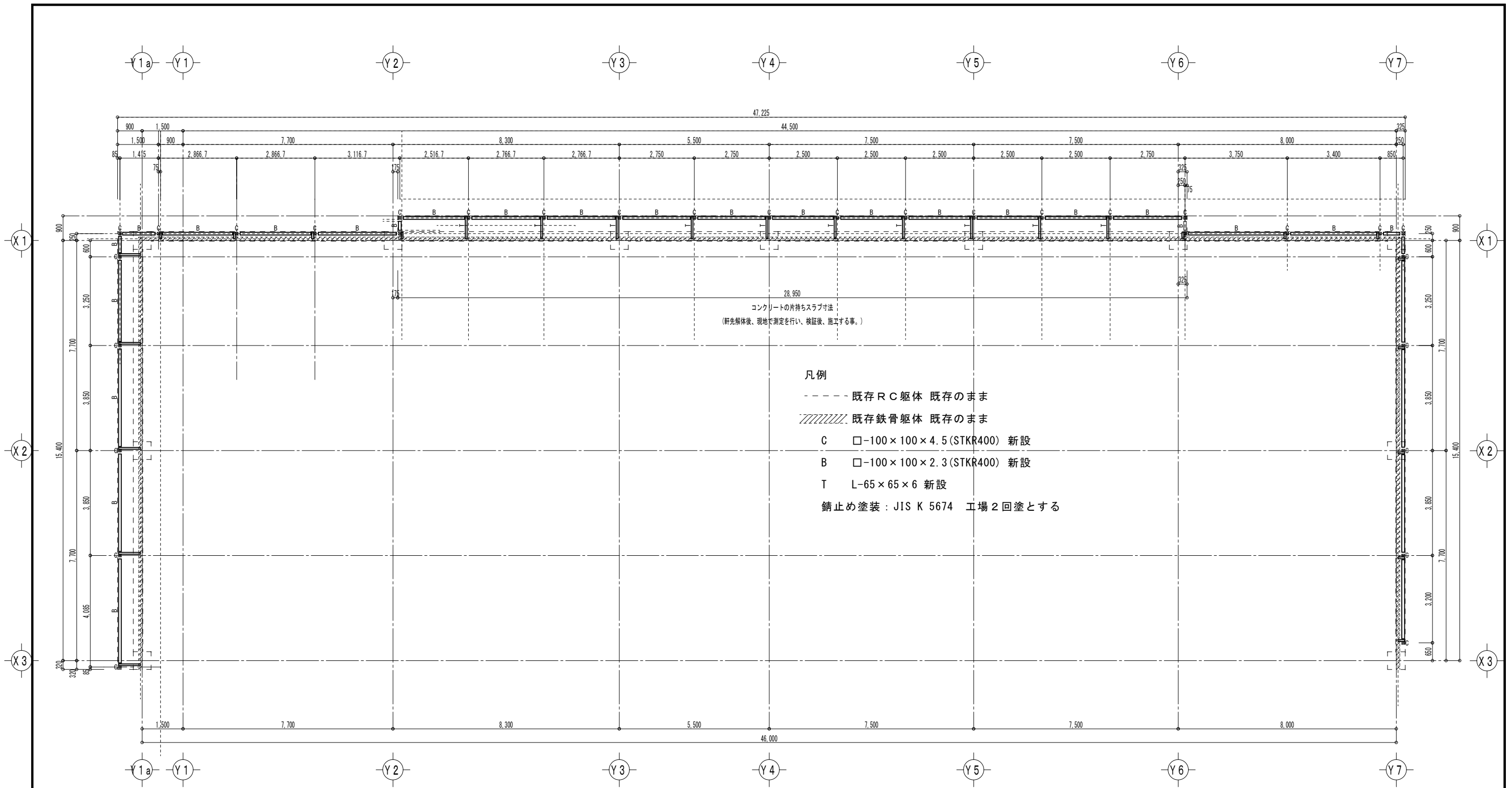
事務所名	株式会社 小西建築設計事務所 1級建築士事務所 広島登録22(1)第0861号			日付	備考	縮尺 A2版 100% A3版 70.7%	工事名	令和8年度 庁舎管理事務 福富支所外部等改修工事	図面名称	改修後屋根伏図	縮尺	1/200	図面番号	A-62 枚の内 24号図	' 250604
	管理建築士 1級建築士登録第320842号 大塚規正														



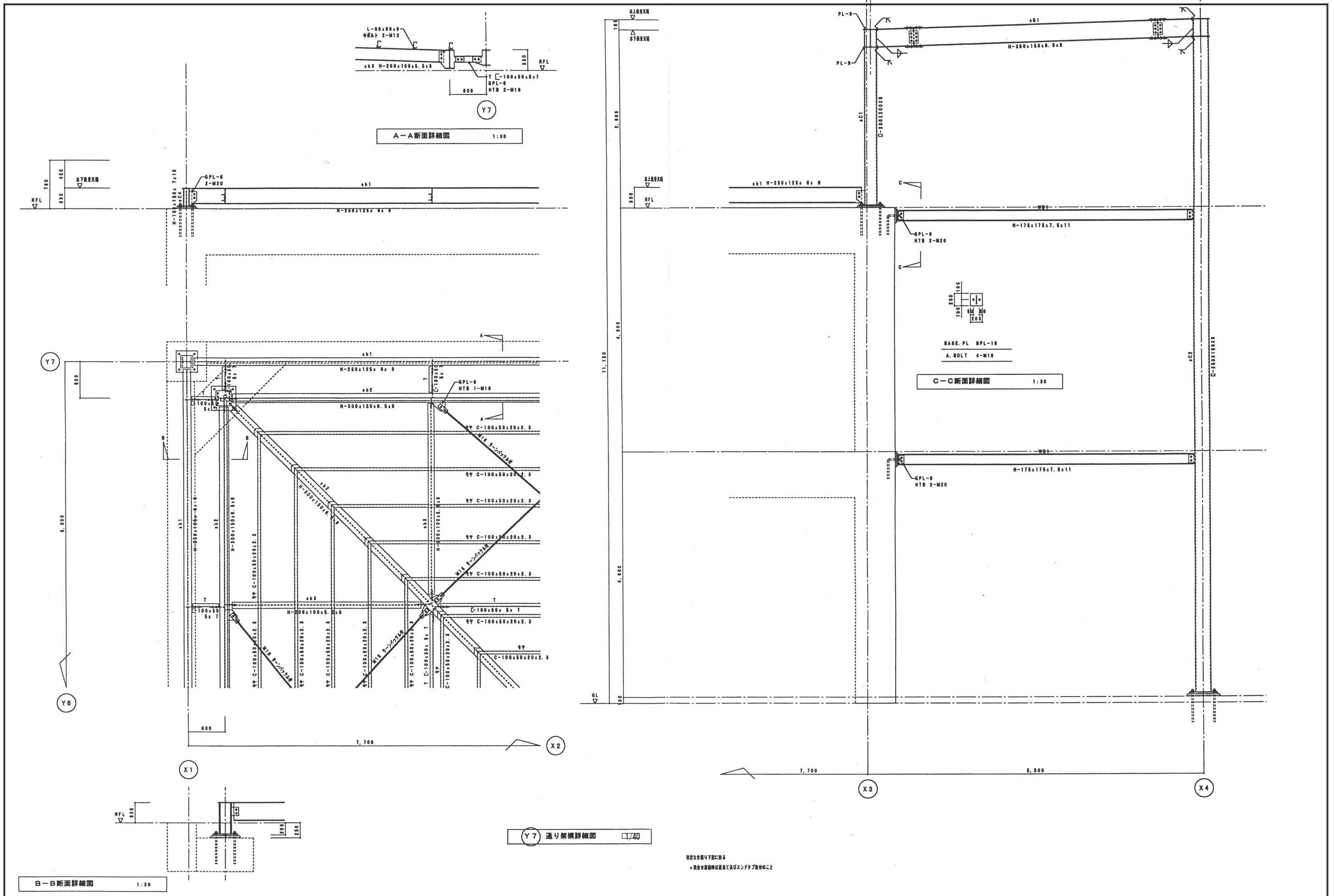
改修前鉄骨伏図 1:200

- 補記をきり下記に添る
- 本平プレス M10 とする
 - ab1 とする

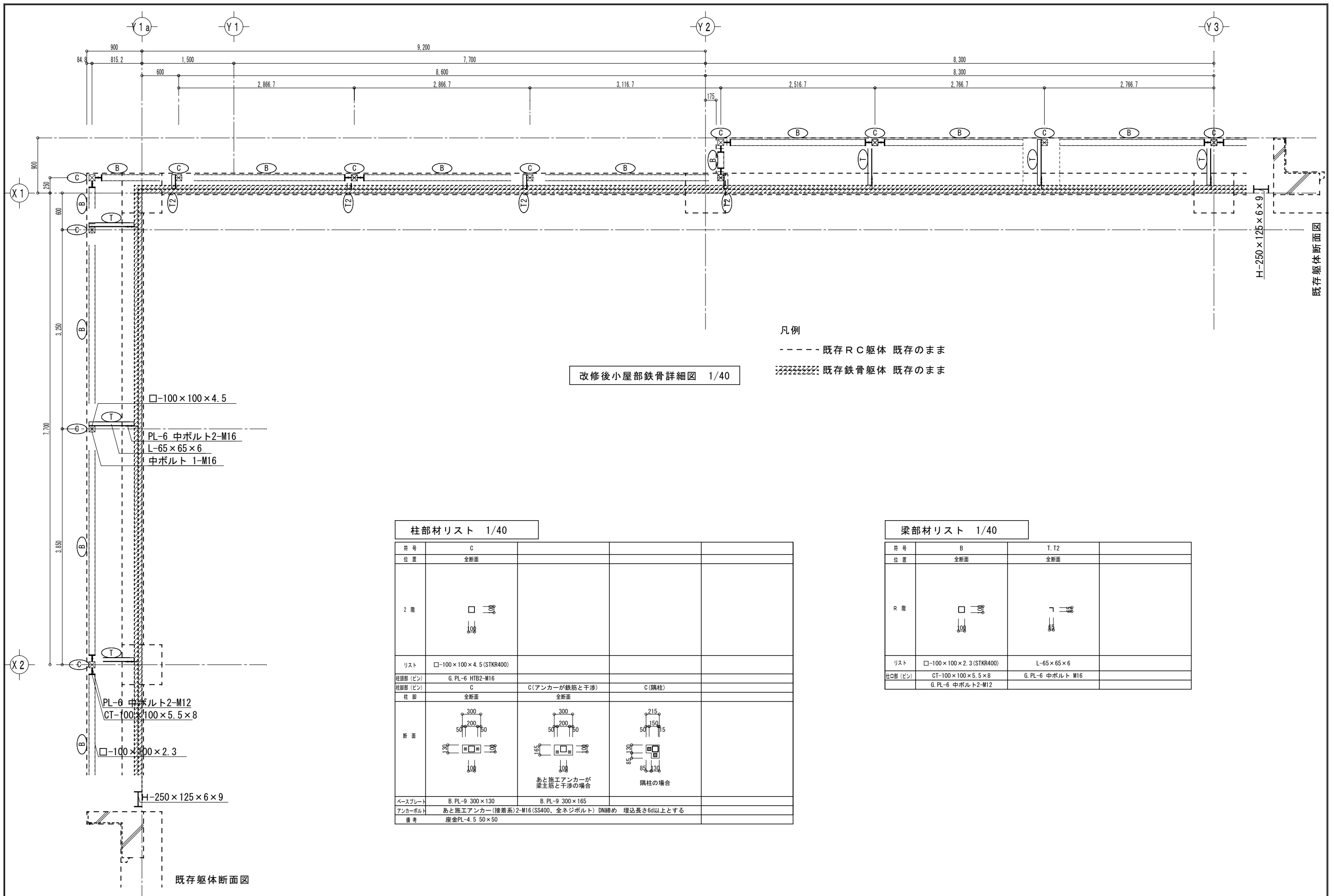




改修後鉄骨伏図 1/100



事務所名	株式会社 小西建築設計事務所 1級建築士事務所 広島県登録22(1)第0861号			日付	備考	縮尺 A2版 100% A3版 70.7%	工事名	令和8年度 庁舎管理事務 福富支所外部等改修工事	図面名称	縮尺	1/40	図面番号	A-62 枚の内 27号図	' 250604
	管理建築士 1級建築士登録第320842号 大塚規正													



改修後小屋部鉄骨詳細図 1/40

凡例
 ----- 既存RC躯体 既存のまま
 :::::::::::::: 既存鉄骨躯体 既存のまま

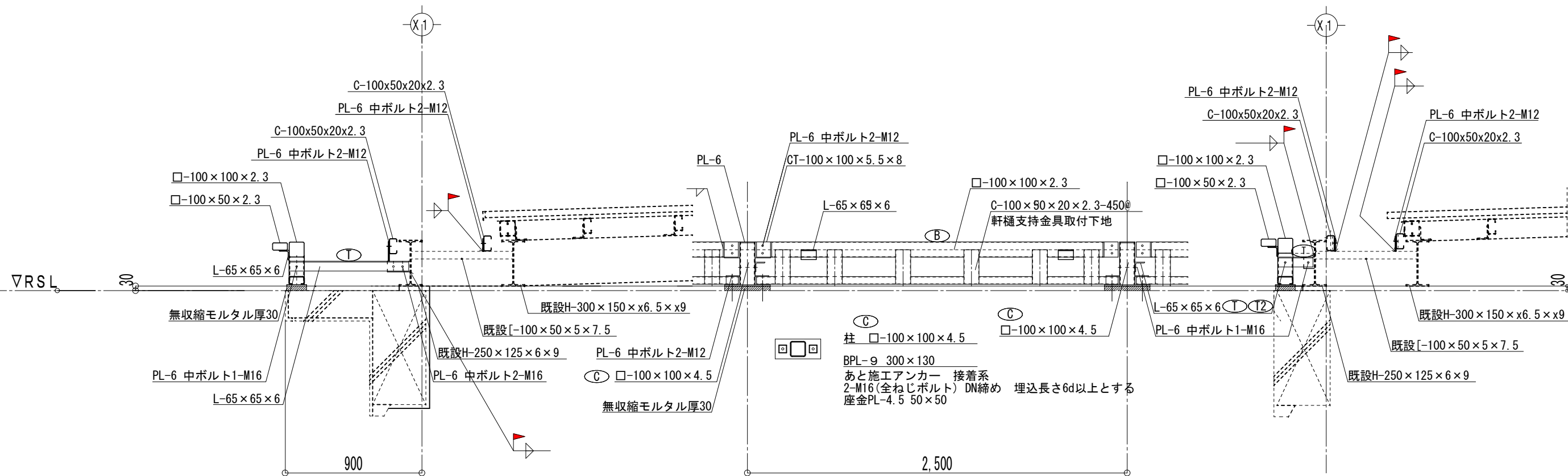
柱部材リスト 1/40

符号	C		
位置	全断面		
2層			
リスト	□-100×100×4.5 (STKR400)		
柱頭部 (ピン)	G. PL-6 HTB2-M16		
柱脚部 (ピン)	C	C (アンカーが鉄筋と干渉)	C (隅柱)
柱脚	全断面		
断面			
ベースプレート	B. PL-9 300×130		
アンカーボルト	あと施工アンカー (接着系) 2-M16 (SS400、全ネジボルト) DN締め 埋込長さ6d以上とする		
備考	座金PL-4.5 50×50		

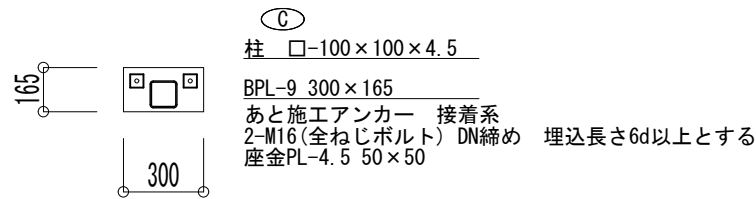
梁部材リスト 1/40

符号	B	T, T2
位置	全断面	
R層		
リスト	□-100×100×2.3 (STKR400)	L-65×65×6
柱口部 (ピン)	CT-100×100×5.5×8	G. PL-6 中ボルト M16
	G. PL-6 中ボルト2-M12	

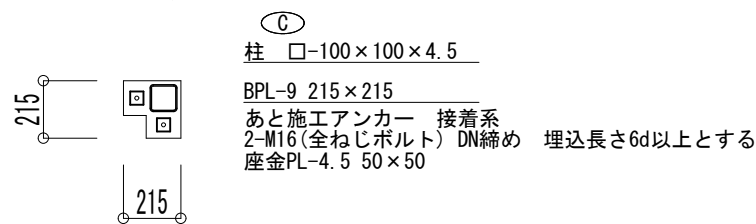
既存躯体断面図



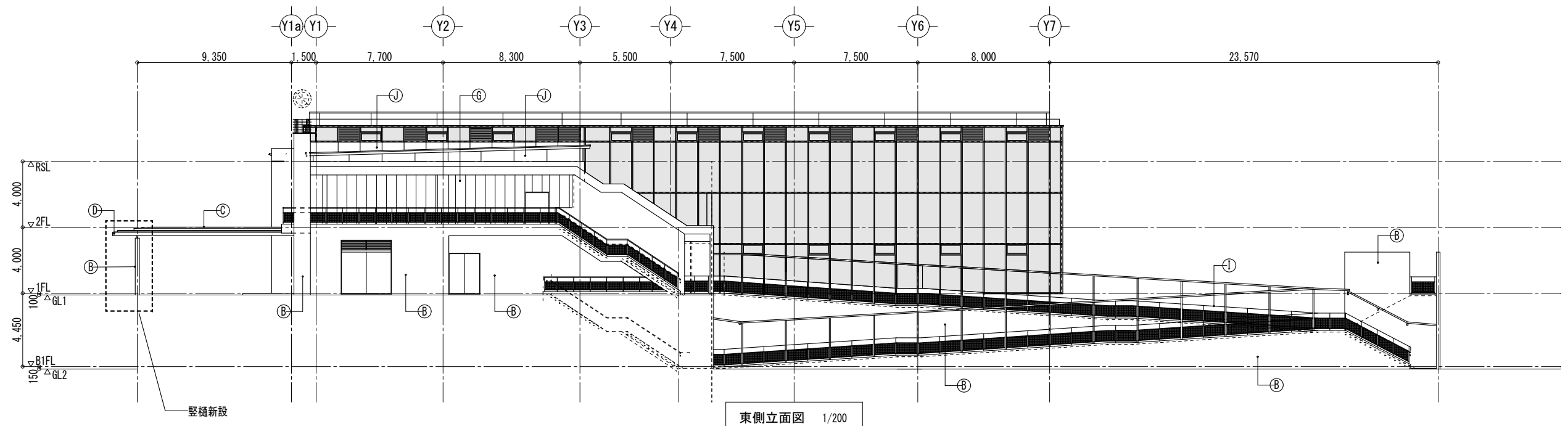
※あと施工アンカーがRCの鉄筋と干渉した場合(一例)



※隅柱の場合



鉄骨詳細図 1/20

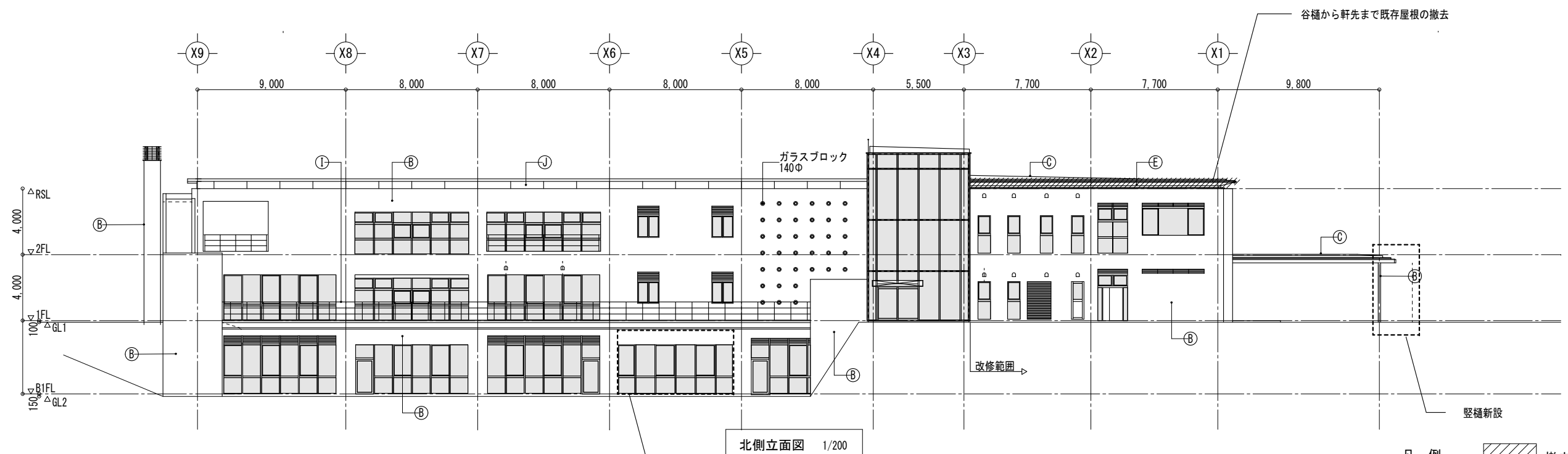


仕上表

(A) 200×40角せつ器質タイル貼(縦貼)	(F) 木材保護着色塗装
(B) 化粧型枠コンクリート打放し水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装	(G) 押出成型セメント板水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装
(C) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=0.8(立ハゼ葺)	(H) スチールFBフッ素樹脂塗装
(D) 熔融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	(I) SUSFB-HL
(E) アルミパネル(アクリル樹脂焼付塗装)	(J) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=1.6

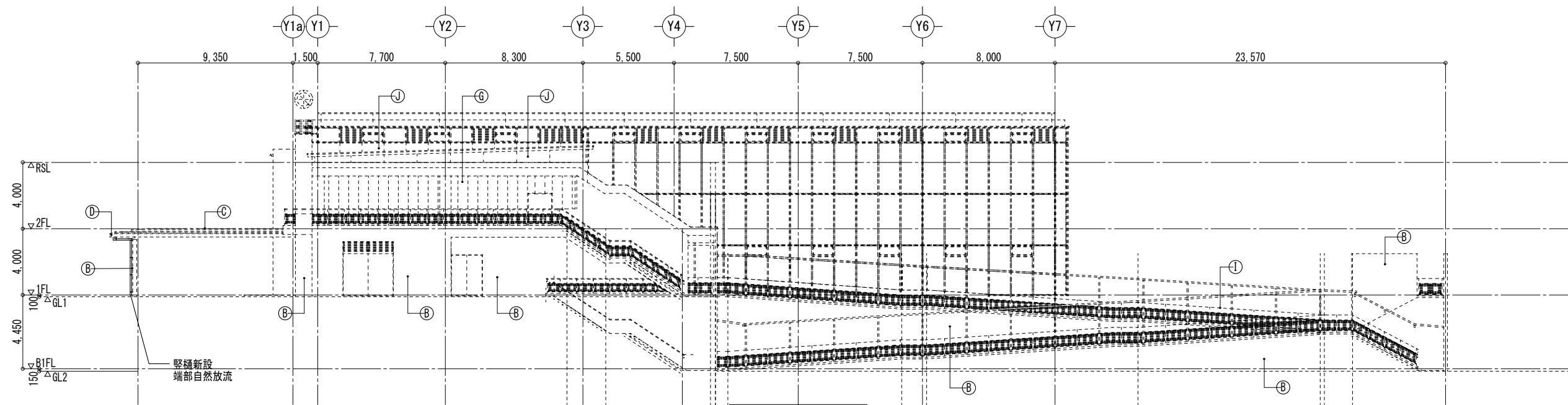
【改修内容】

- ・外壁劣化部の補修
- ・建具廻りのシーリングの撤去及び新設
- ・谷樋及び軒先を撤去し、屋根新設
- ・外縦樋及び外縦樋の新設



改修範囲：光庭に面する外壁
 ・アルミ製庇新設
 ・建具廻りのシーリングの撤去及び新設

凡例  撤去範囲

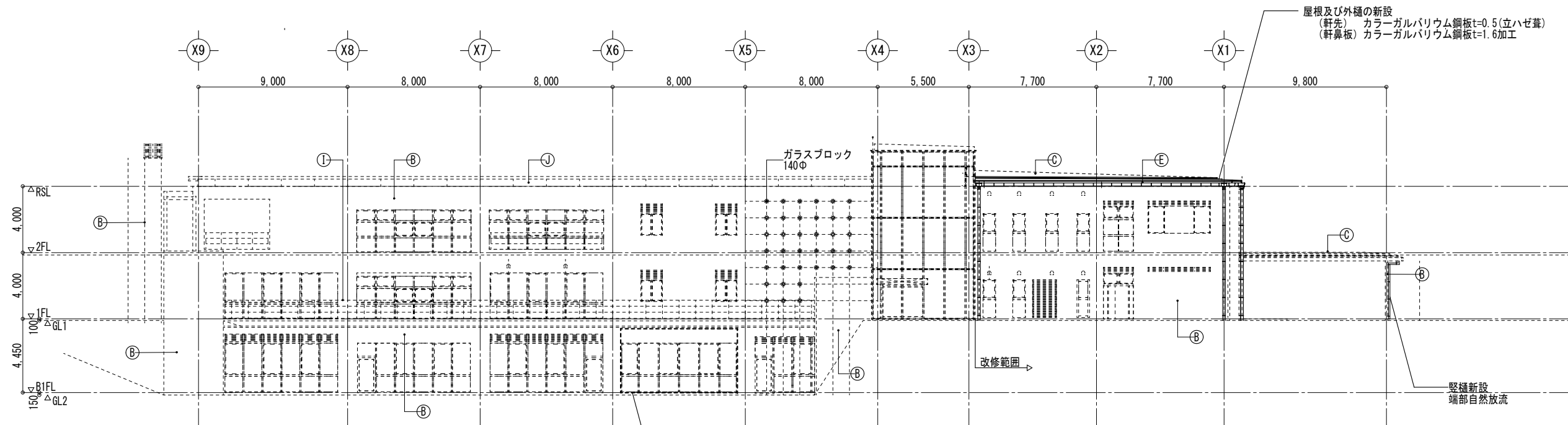


東側立面図 1/200

仕上表

(A) 200×40角せつ器質タイル貼(縦貼)	(F) 木材保護着色塗装
(B) 化粧型枠コンクリート打放し水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装	(G) 押出成型セメント板水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装
(C) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=0.8(立ハゼ葺)	(H) スチールFBフッ素樹脂塗装
(D) 熔融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	(I) SUSFB-HL
(E) アルミパネル(アクリル樹脂焼付塗装)	(J) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=1.6

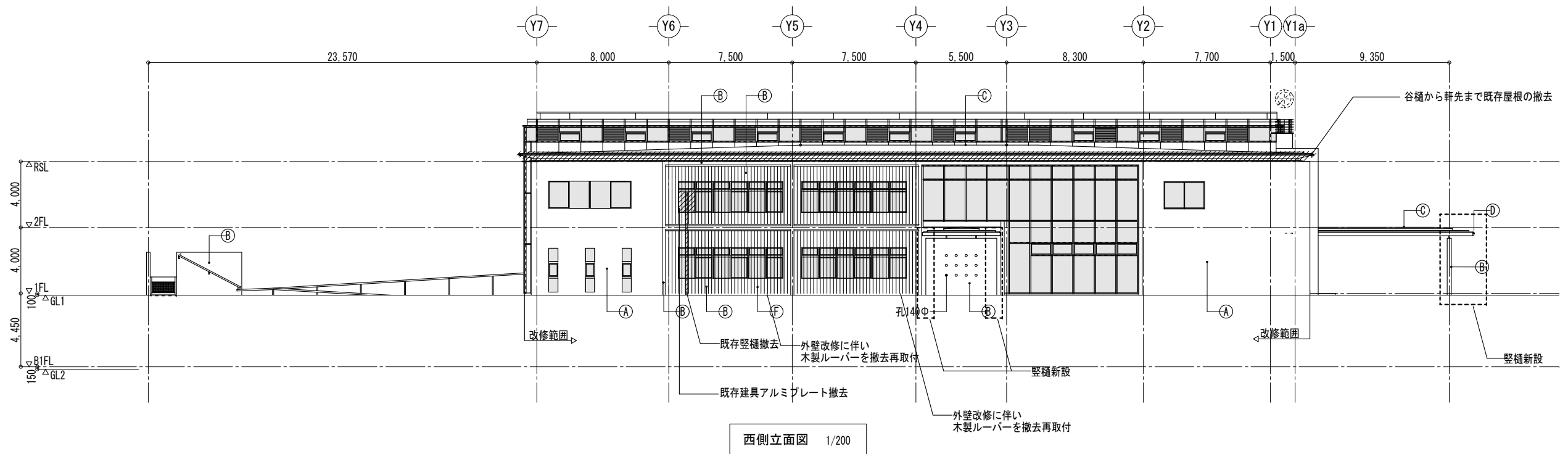
- 【改修内容】
- ・外壁劣化部の補修
 - ・建具廻りのシーリングの撤去及び新設
 - ・谷樋及び軒先を撤去し、屋根新設
 - ・外軒樋及び外縦樋の新設



北側立面図 1/200

改修範囲：光庭に面する外壁
 ・アルミ製庇新設
 ・建具廻りのシーリングの撤去及び新設

凡例 ----- 既存のまま

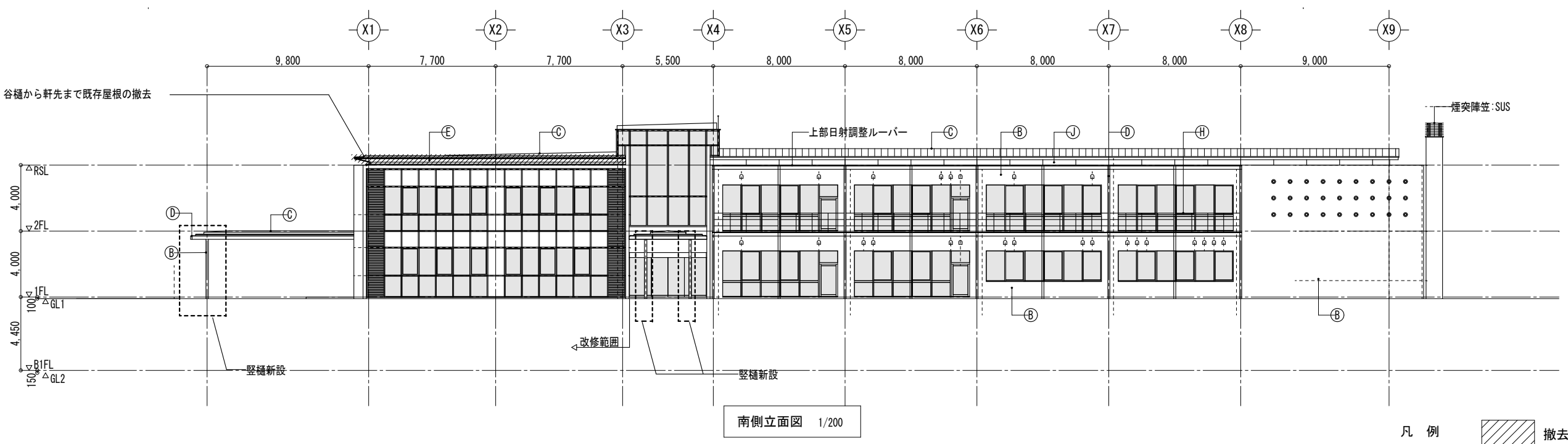


西側立面図 1/200

仕上表

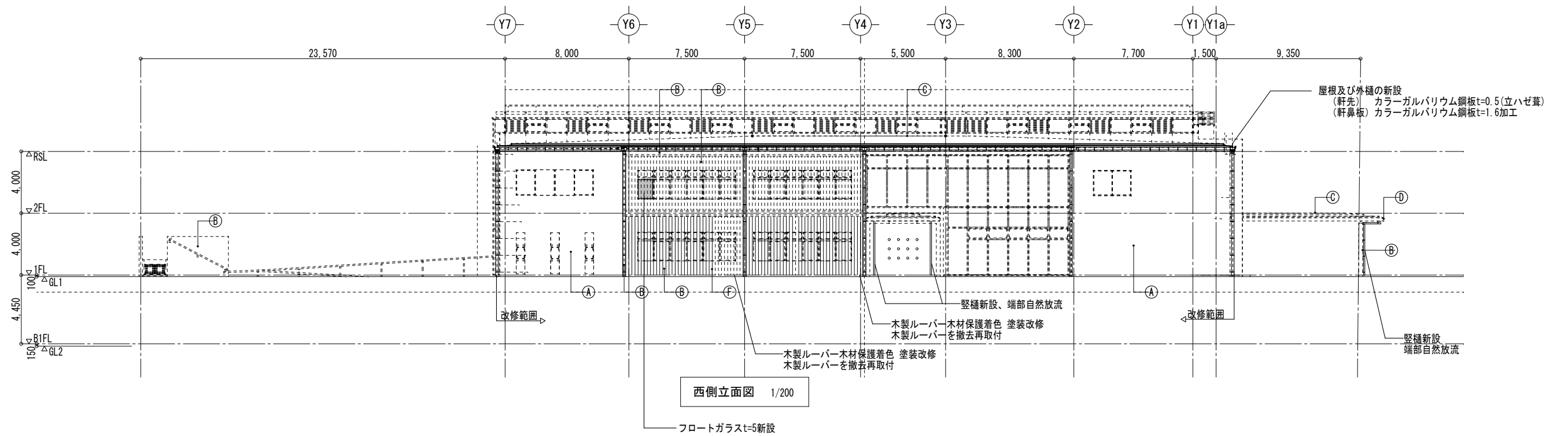
(A) 200×40角せつ器質タイル貼(縦貼)	(F) 木材保護着色塗装
(B) 化粧型枠コンクリート打放し水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装	(G) 押出成型セメント板水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装
(C) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=0.8(立ハゼ葺)	(H) スチールFBフッ素樹脂塗装
(D) 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	(I) SUSFB-HL
(E) アルミパネル(アクリル樹脂焼付塗装)	(J) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=1.6

- 【改修内容】
- ・外壁劣化部の補修
 - ・建具廻りのシーリングの撤去及び新設
 - ・谷樋及び軒先を撤去し、屋根新設
 - ・外軒樋及び外壁樋の新設



南側立面図 1/200

凡例 撤去範囲

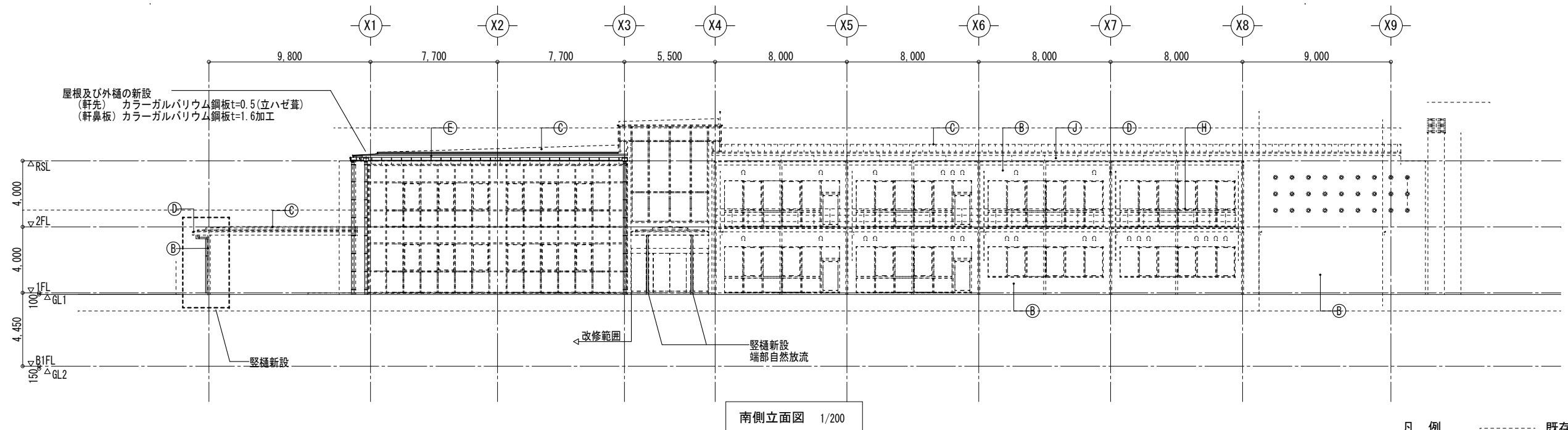


西側立面図 1/200

仕上表

(A) 200×40角せつ器質タイル貼(縦貼)	(F) 木材保護着色塗装
(B) 化粧型枠コンクリート打放し水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装	(G) 押出成型セメント板水性アクリルシリコン樹脂カラークリア塗装
(C) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=0.8(立ハゼ葺)	(H) スチールFBフッ素樹脂塗装
(D) 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	(I) SUSFB-HL
(E) アルミパネル(アクリル樹脂焼付塗装)	(J) フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板t=1.6

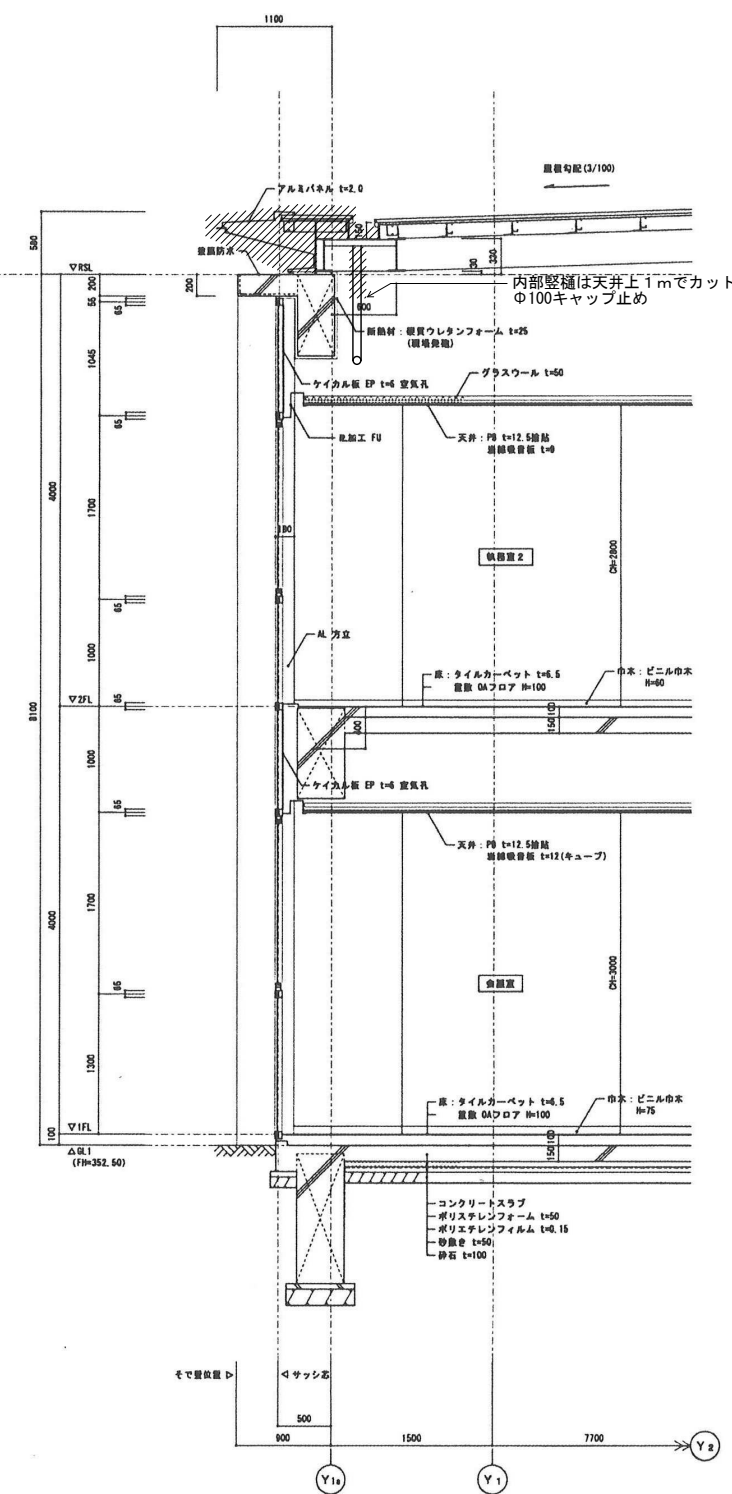
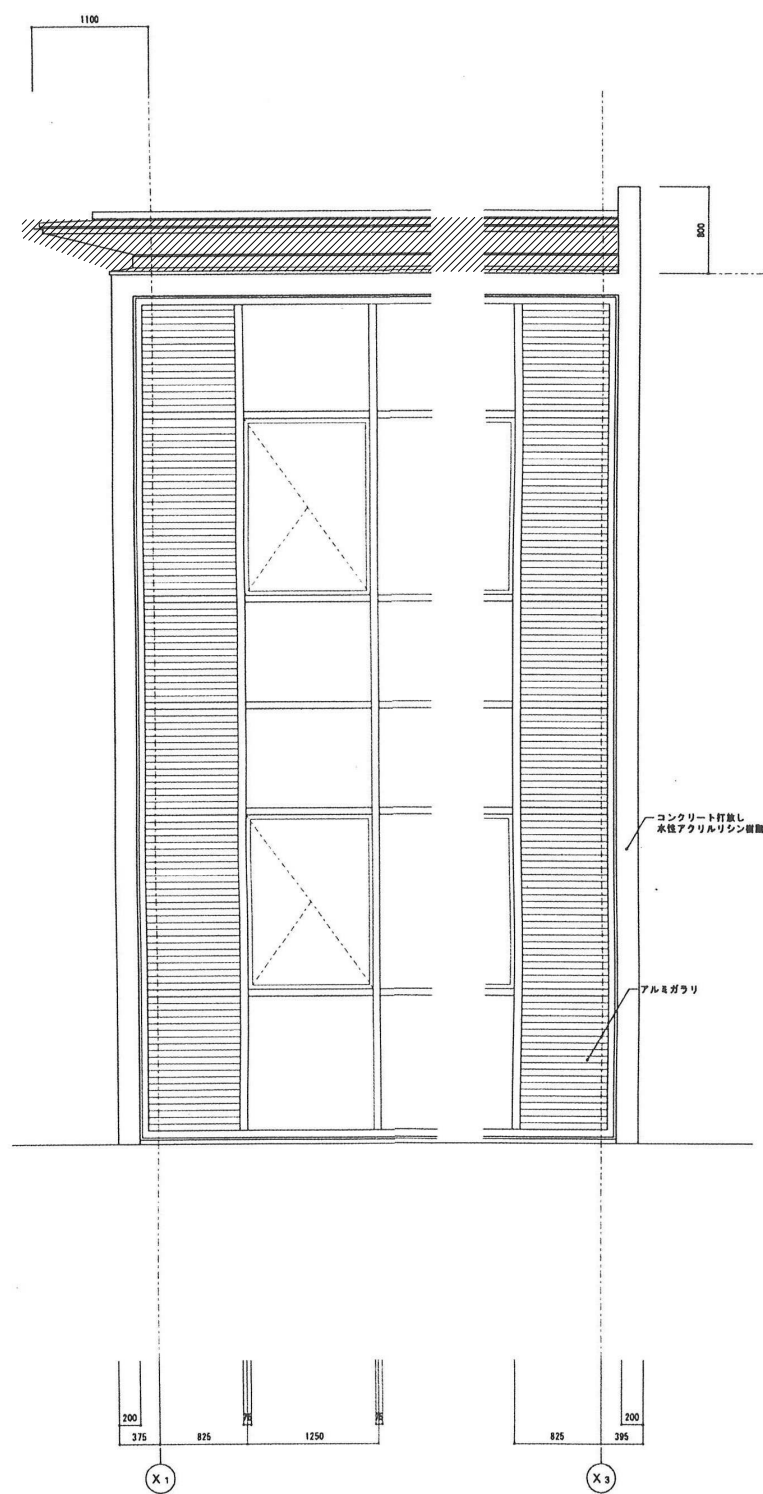
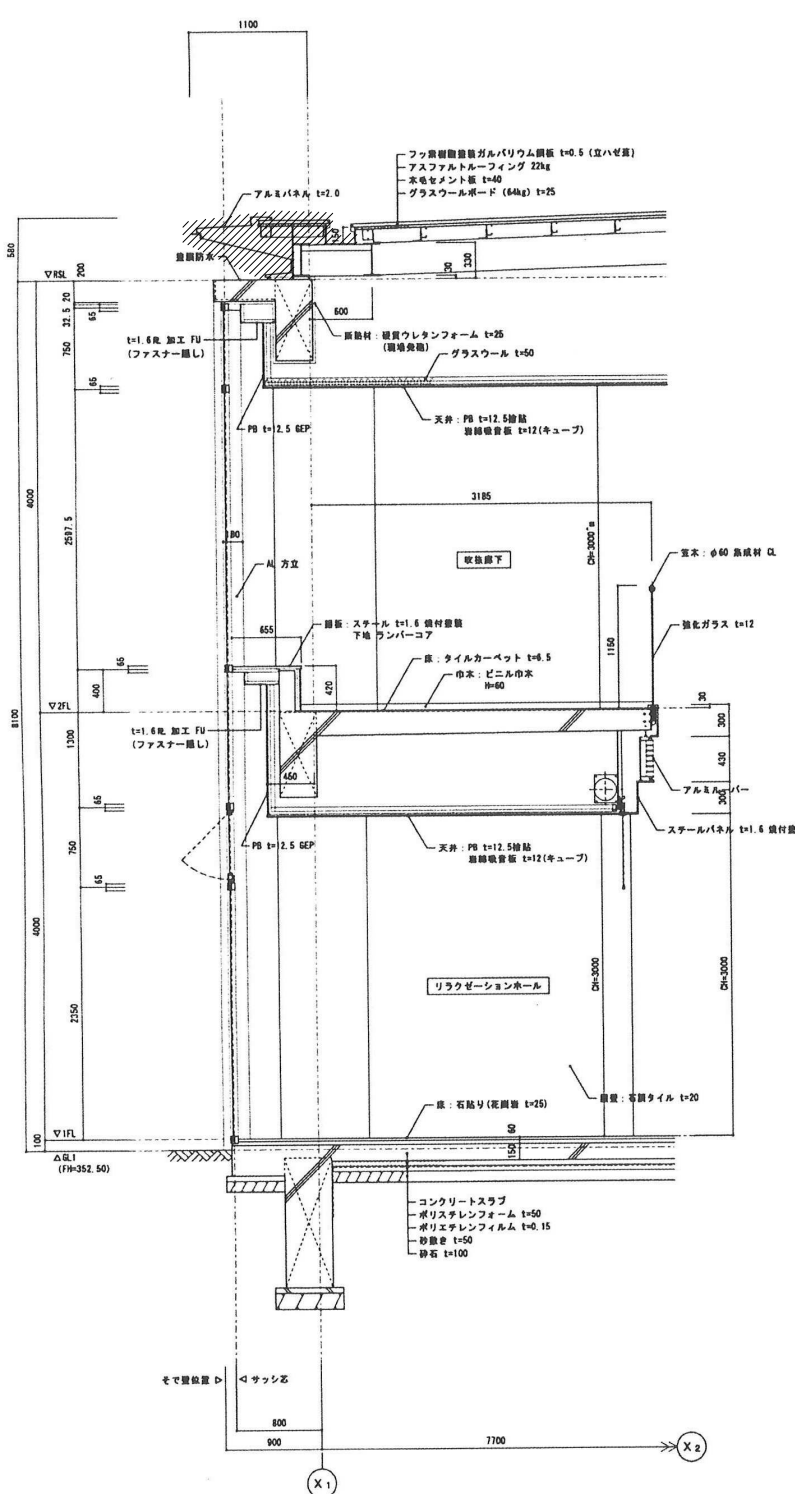
- 【改修内容】
- ・外壁劣化部の補修
 - ・建具廻りのシーリングの撤去及び新設
 - ・谷樋及び軒先を撤去し、屋根新設
 - ・外軒樋及び外縦樋の新設



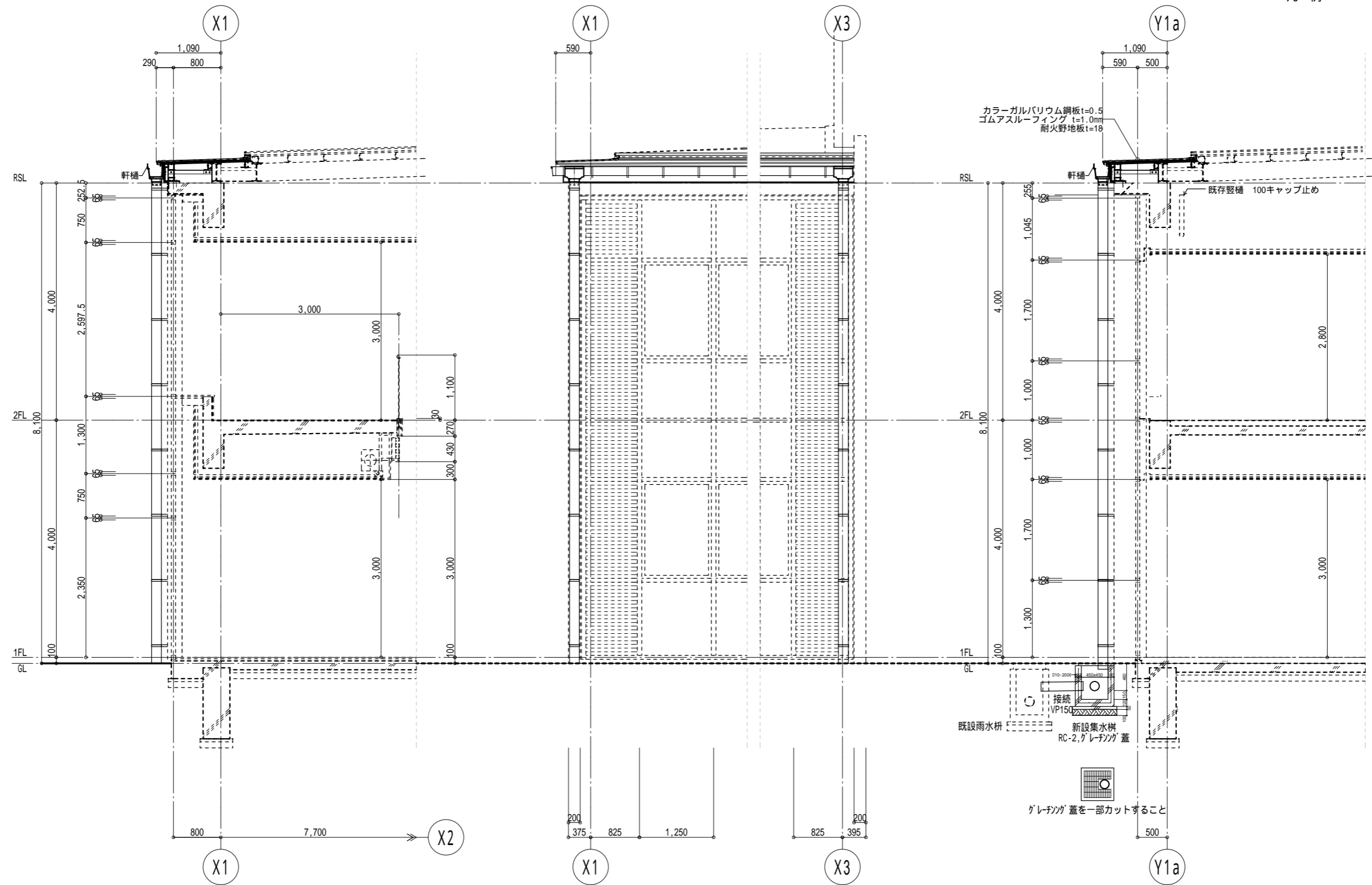
南側立面図 1/200

凡例 既存のまま

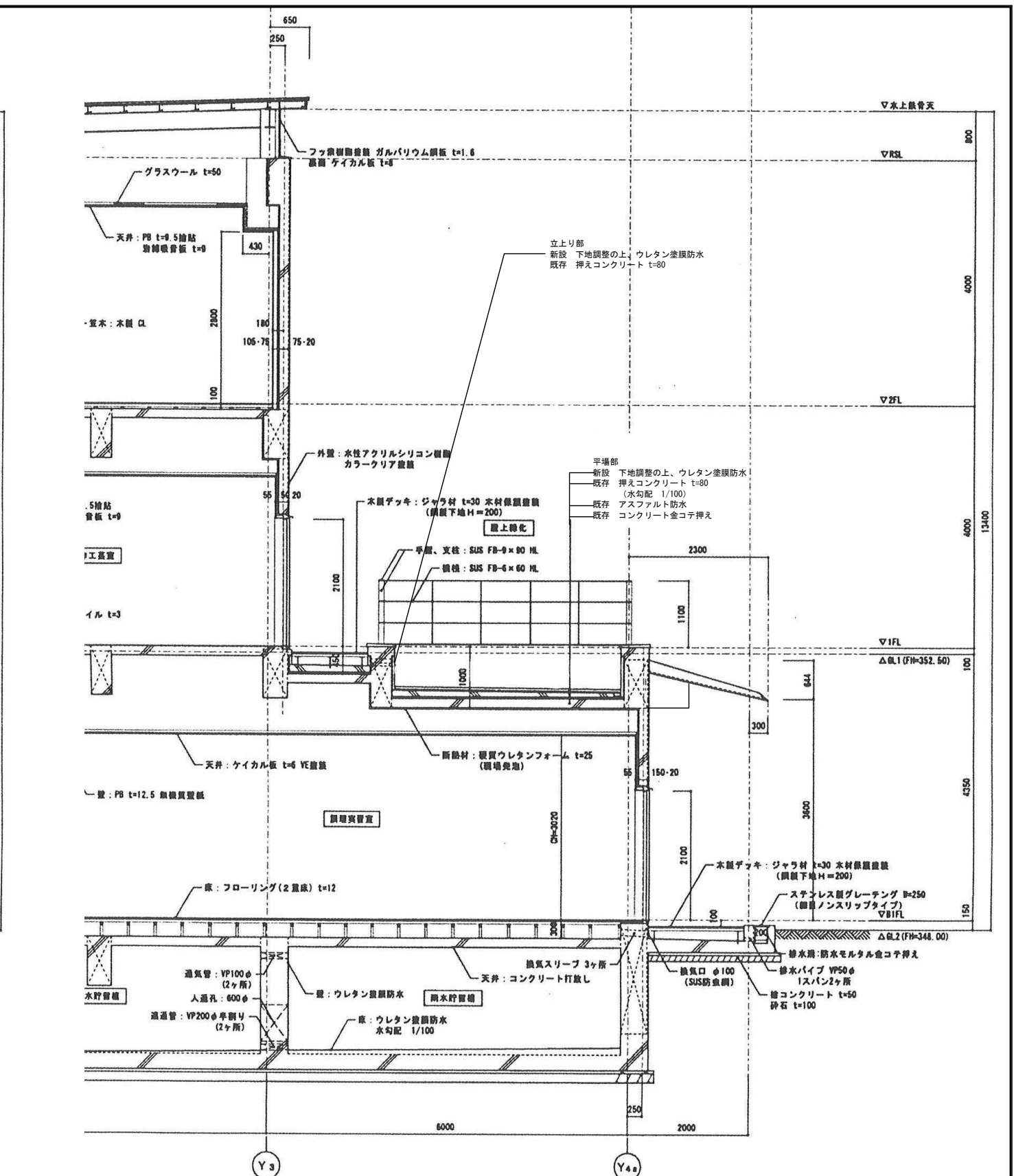
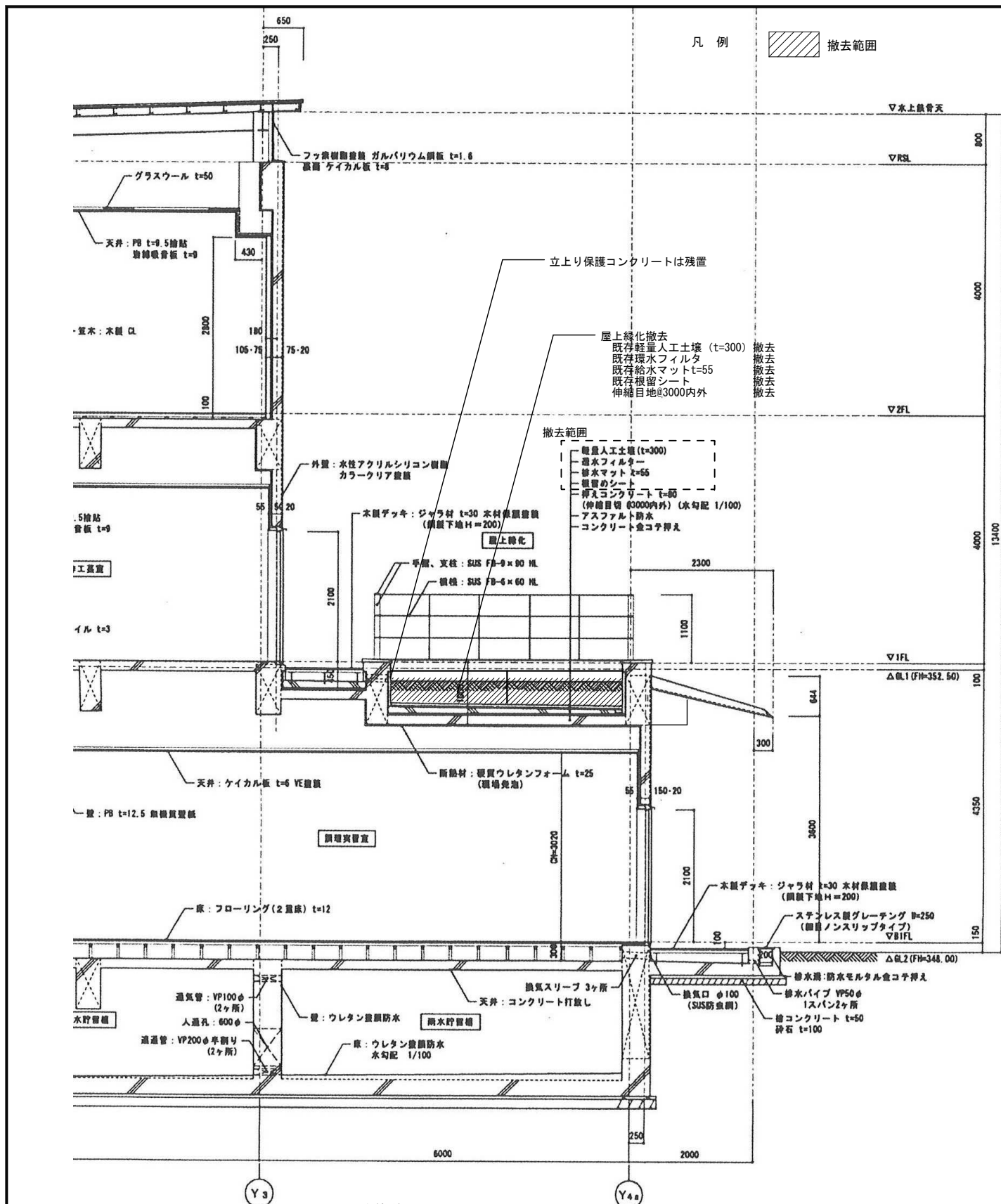
凡例  撤去範囲

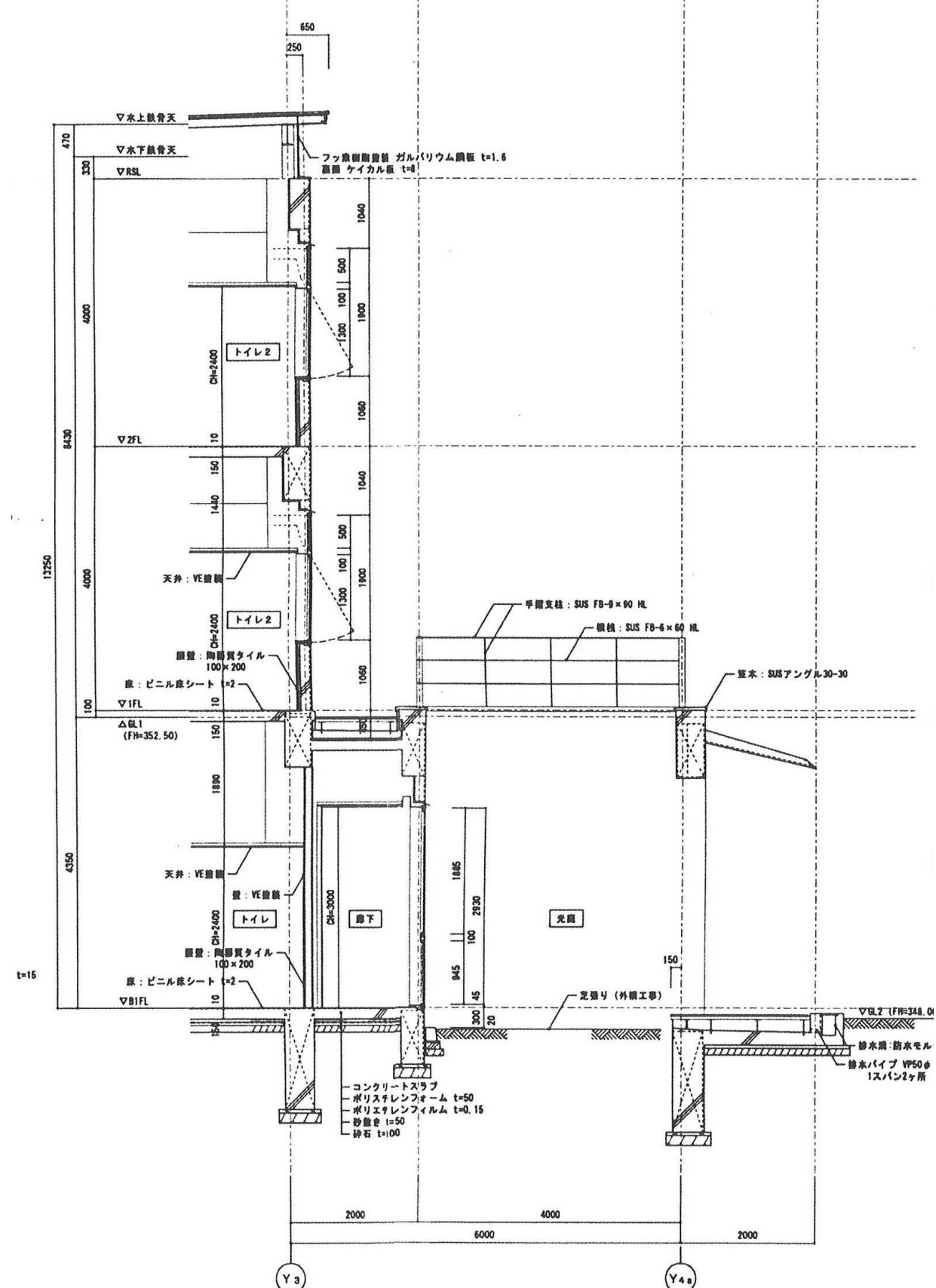


凡例 ----- 既存のまま

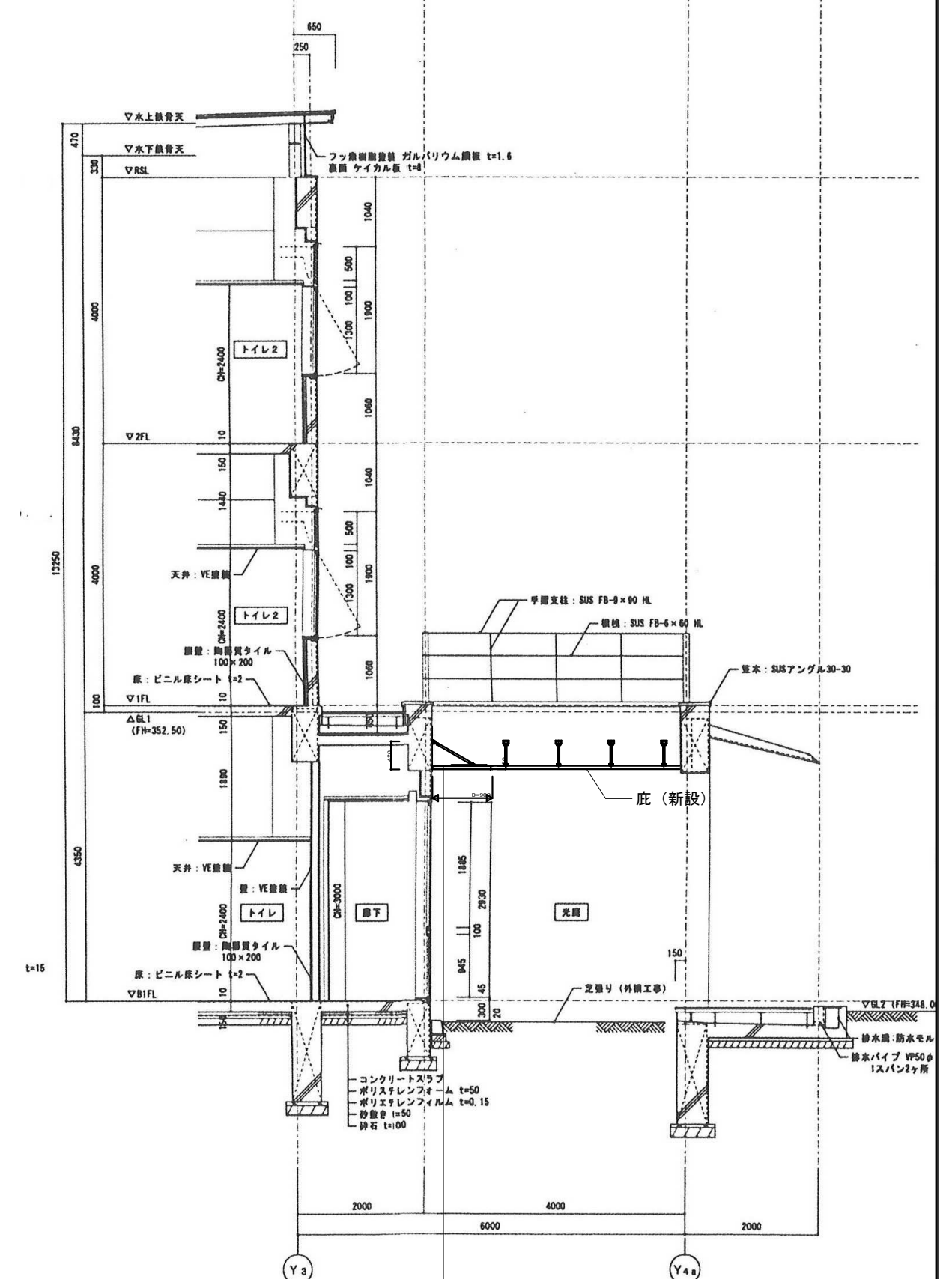


事務所名	株式会社 小西建築設計事務所	日付	備考	縮尺 A2版 100% A3版 70.7%	工事名	図面名称	縮尺	図面番号	枚の内	' 250604
	1級建築士事務所 広島県登録22(1)第0861号 管理建築士 1級建築士登録第320842号 大塚規正									





改修前
X5-X6 矩計図 1:60



改修後
X5-X6 矩計図 1:60

地階光庭小庇取付
アルミ製小庇(壁芯より1m以内)三方取付・取合シーリング仕舞